TOSHIBA

東芝デジタル複合機

IPファクス機能 取扱説明書

e-STUDIO2010AC
e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC
e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A
e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC
e-STUDIO6518A/8518A

●このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

© 2018 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved
本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、IPファクス機能の使用方法について説明しています。
本機をお使いになる前に本書をよくお読みください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

⚠警告 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

⚠注意 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

注 意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補 足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

🕮 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

＊1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
＊2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
＊3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

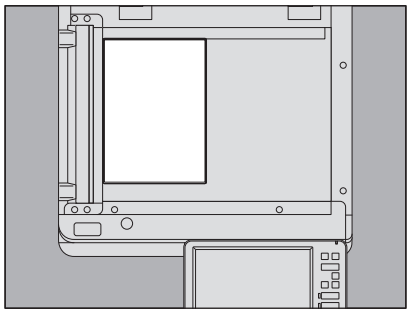
□ 本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

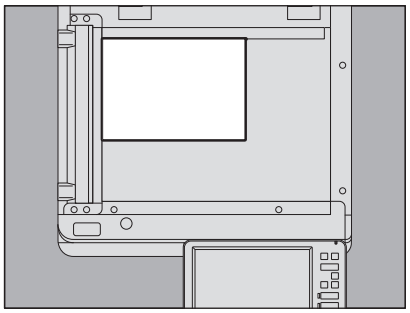
□ 原稿や用紙のサイズ表記について

A4やB5サイズの原稿や用紙は、縦向きにも横向きにもセットできます。本書では、これらのサイズの紙を横向きにセットする場合、サイズの後ろに「-R」を付けて表記しています。

例）A4サイズの原稿の場合



縦向きにセットした場合: A4



横向きにセットした場合: A4-R

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2010AC	e-STUDIO5015AC Series
e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC	
e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A	e-STUDIO5018A Series
e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC	e-STUDIO7516AC Series
e-STUDIO6518A/8518A	e-STUDIO8518A Series

□ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、お使いの機種の**かんたん操作ガイド**をご覧ください。

□ 画面と操作手順の説明について

本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 10を例に説明しています。
お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

□ 本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置を、どちらも自動原稿送り装置と記述して説明しています。

□ 商標について

商標については**安全にお使いいただくために**をご覧ください。

目次

はじめに **3**

第1章　IPファクス機能の概要

IPファクスについて **8**

第2章　ライセンスをインストールする

ライセンスを確認する **12**

ライセンスをインストールする **13**

第3章　IPファクス機能を設定する

TopAccessからIPファクス機能を設定する **16**

設定の流れ 16
一般設定 17
IPファクス設定 18
アドレス帳 30

第4章　IPファクス機能を使用する

操作パネルからIPファクス機能を使用する **36**

送信/受信 36
［設定/登録］ 47

N/W-Faxドライバから IPファクス機能を使用する **56**

IPファクスを送信する 56
IPファクスの宛先を指定する 60
宛先の削除 69
［送信］タブの設定 70
［デバイス設定］タブの設定 72

TopAccessからIPファクス機能を使用する **75**

ログ 75
テンプレート 78
Fコード／ファクス受信転送（振分け） 80
ロール管理 82
レポート通知設定 85
IPファクス受信転送（管理者設定） 87

第5章　困ったときは

送信/受信の動作トラブル **102**

IPファクス機能に関するエラーコード **103**

第6章　付録

IPファクス機能に関するリスト/レポートの項目 **106**

システム設定リスト（管理者） 106
リスト/レポートに表示されるIPファクス機能に関する項目 107

IPファクス機能の仕様 **108**

索引 **109**

1

IPファクス機能の概要

IPファクスについて 8

IPファクスについて

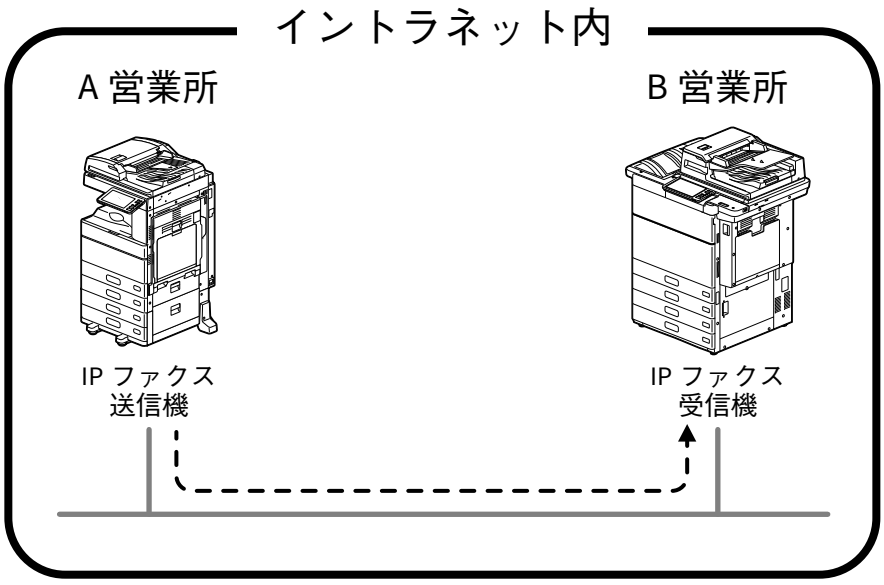
IPファクスとは、IPネットワーク上でファクスを送受信する機能です。

注 意

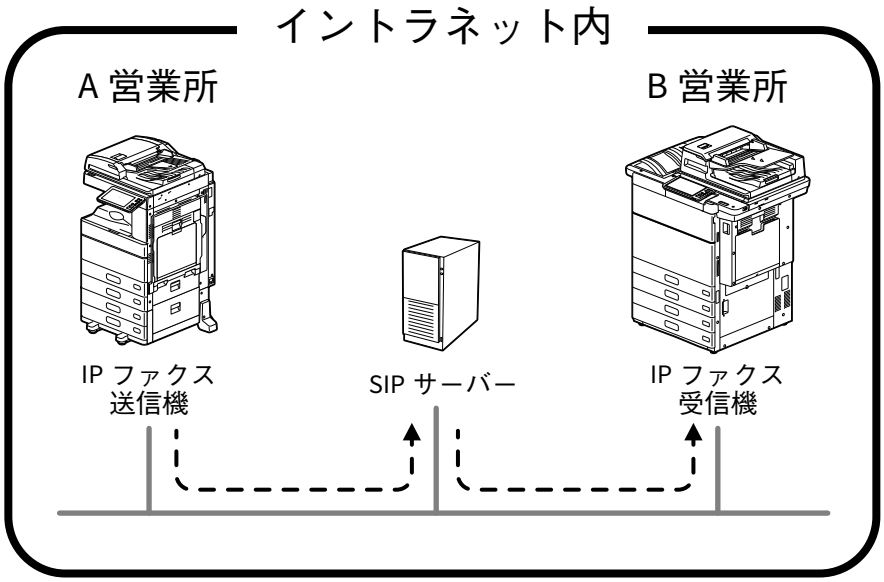
- IPファクス機能を使用するには、IPファクスオプションが必要です。詳細については、販売店またはサービスエンジニアにお問い合わせください。
- IPファクスによる送受信は、弊社製複合機どうしの通信のみ保証します。
- IPファクスオプションがインストールされている場合、移行可能な節電モードはスリープモードです。
- AirPrintのファクス機能はIPファクスに対応していません。
- IPファクスの送受信でセキュリティの考慮が必要な場合は、IPsecオプションを使用してください。
- 無線LANを使用している場合、通信エラーが発生することがあります。
- Wi-Fi Direct接続のネットワークでは、IPファクスは通信できません。

IPファクスでは、次のような送受信が可能です。

- **複合機どうしによる送受信**
  イントラネット内でIPファクスに対応した複合機どうしで送受信を行います。宛先にはIPアドレス、ホスト名またはSIP URIを使用します。SIP URIについては🕮 P.30 「アドレス帳」を参照してください。



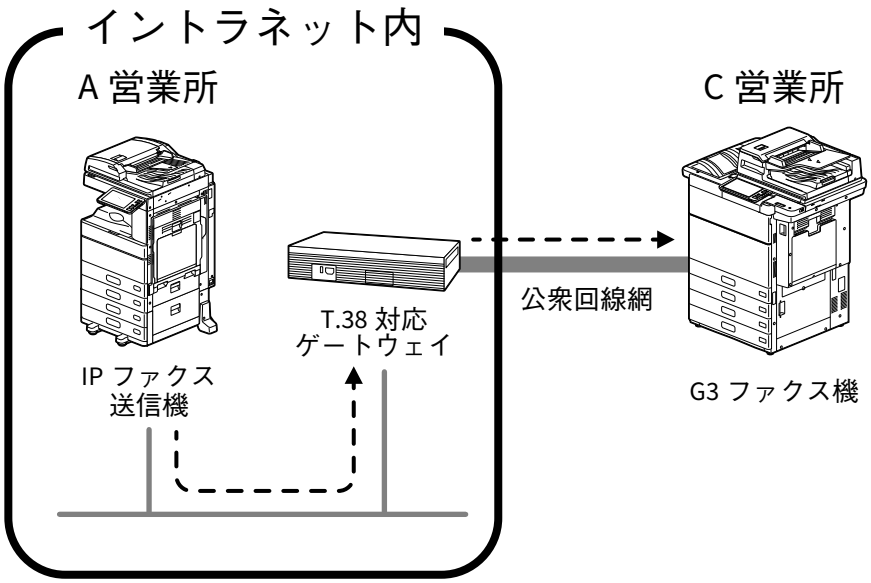
- **SIPサーバー経由による送受信**
  SIPサーバーを経由し、イントラネット内でIPファクスに対応した複合機どうしで送受信を行います。宛先にはIPファクス番号を使用します。



補 足

SIPサーバーとは、SIP（Session Initiation Protocol）を利用したIP電話サービスの管理・制御を行うサーバーのことです。弊社ではCisco Unified Communication Manager Express 14.0による試験を行っています。

- **T.38対応ゲートウェイ経由によるG3ファクス機との送受信**
  IPファクス送信機からT.38対応ゲートウェイを経由し、G3ファクス機との送受信を行います。宛先には電話番号を使用します。



補 足

T.38対応ゲートウェイとは、IPネットワークと公衆回線網を中継するための機器です。弊社ではCisco C2911-CME-SRST/K9 + EM-HAD-6FXOによる試験を行っています。

2

ライセンスをインストールする

ライセンスを確認する 12
ライセンスをインストールする 13

ライセンスを確認する

IPファクス機能を使用するには、IPファクスオプションが必要です。詳細については、販売店またはサービスエンジニアにお問い合わせください。
お使いの複合機にIPファクスオプションがインストールされているかは、以下で確認できます。
操作パネルの［設定/登録］-［管理者設定］-［機器設定］-［ライセンス管理］に「IP Fax Enabler」または「IP Fax Enabler (license)」のライセンスが登録されていれば、IPファクス機能を利用できます。
📖 **設定管理ガイド**「設定項目（管理者設定）」-「オプションのライセンスを管理する」-「製品情報を表示する」

ライセンスをインストールする

お使いの複合機にIPファクスオプションがインストールされていない場合、以下の取扱説明書を参照してIPファクスオプションをインストールしてください。
📖 **設定管理ガイド**「設定項目（管理者設定）」-「オプションのライセンスを管理する」-「オプションをインストールする」または「ライセンスを有効化する」

3

IPファクス機能を設定する

TopAccessからIPファクス機能を設定する 16
設定の流れ 16
一般設定 17
IPファクス設定 18
アドレス帳 30

TopAccessからIPファクス機能を設定する

TopAccessからIPファクスを使用するために必要な設定を行います。
📖 P.16 「設定の流れ」
📖 P.17 「一般設定」
📖 P.18 「IPファクス設定」
📖 P.30 「アドレス帳」

TopAccessの操作方法については、**TopAccessガイド**をご参照ください。

■ 設定の流れ

IPファクスを使用するための設定について説明しています。

補 足

IPファクスの送受信に使用する各機器（SIPサーバーやT.38対応ゲートウェイ）の設定／登録に関係する情報（電話番号など）は、各機器の管理者に問い合わせください。

設定

	操作	説明	参照先
1	IPファクス送信/IPファクス受信機能の確認	IPファクス送信/IPファクス受信機能が［有効］であることを確認します。	📖 P.17 「機能設定」
2	一般設定	タッチパネル画面から行うIPファクス操作に関する設定を行います。	📖 P.18 「一般設定」
3	SIP設定	SIPサーバーを使用する場合に必要な設定を行います。	📖 P.22 「SIP設定」
4	ゲートウェイ設定	T.38対応ゲートウェイを使用する場合に必要な設定を行います。	📖 P.26 「ゲートウェイ設定」
5	アドレス帳の登録	アドレス帳に宛先の登録/編集を行います。	📖 P.30 「アドレス帳」

■ 一般設定

IPファクス送信およびIPファクス受信機能を有効にするかどうかを選択します。
TopAccessを管理者権限（アクセスポリシーモード）でログインした画面の［管理者］タブから必要な設定を行ってください。
［管理者］タブ >［セットアップ］>［一般設定］をクリックします。
P.17 「機能設定」

□ 機能設定

補 足

IPファクス設定以外の項目については、**TopAccessガイド**を参照してください。

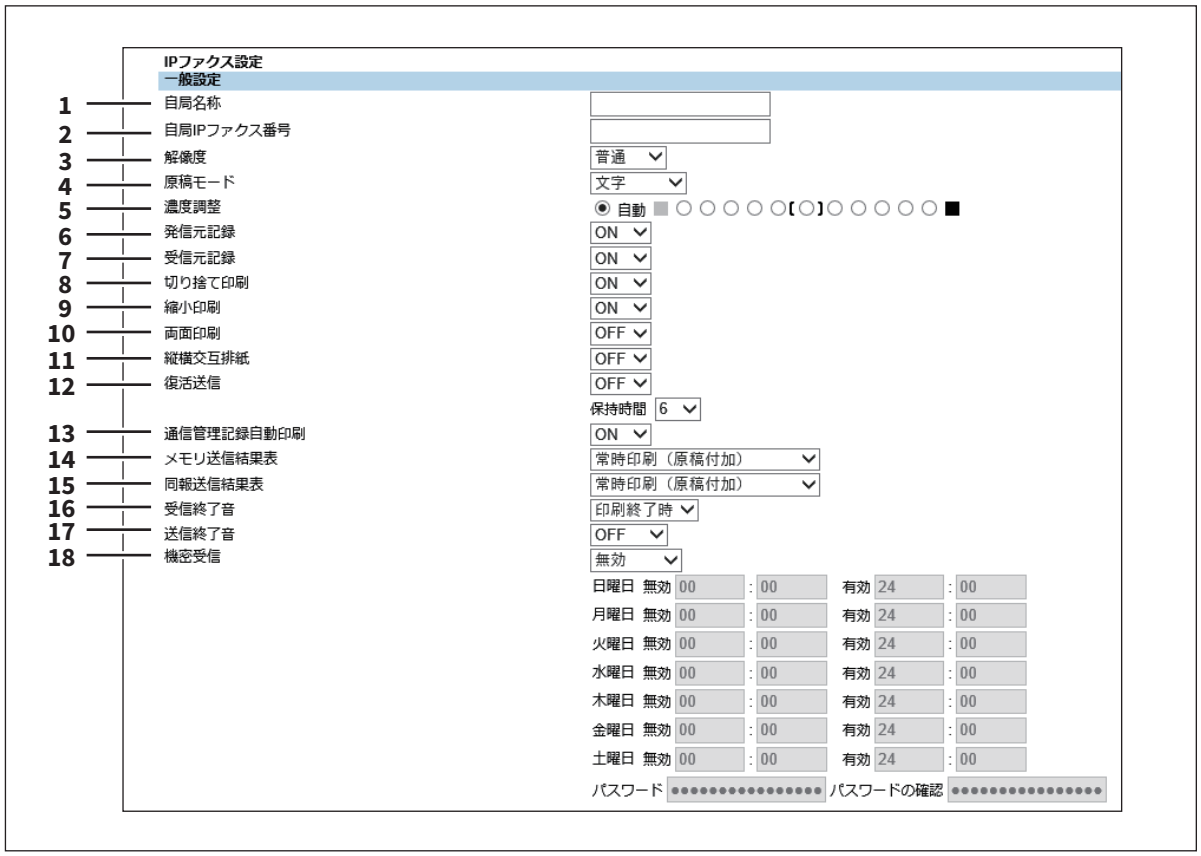
	項目名	機能説明
1	IPファクス送信	IPファクス送信機能を有効にするか無効にするかを選択します。
2	IPファクス受信	IPファクス受信機能を有効にするか無効にするかを選択します。
3	ネットワークIPファクス	ネットワークIPファクス機能を有効にするか無効にするかを選択します。

■ IPファクス設定

IPファクス設定をセットアップすることができます。
📖 P.18 「一般設定」
📖 P.22 「SIP設定」

□ 一般設定

一般設定では、タッチパネル画面から行うIPファクス操作の設定を行います。
TopAccessを起動して、管理者としてアクセスポリシーモードでログインします。
［管理者］タブ > ［セットアップ］ > ［IPファクス］をクリックします。



	項目名	機能説明
1	自局名称	本機を識別する自局名称（会社名）を入力します。 発信元記録（IPファクス）を［ON］に設定している場合は、本機から送信されるすべての文書の先頭にこの名称が印字されます。
2	自局IPファクス番号	本機のIPファクス番号を入力します。このIPファクス番号は、本機から送信されるすべての文書の先頭に印字されます。
	注 意 本機の設定によっては、IPファクス番号が印刷されない場合があります。	

	項目名	機能説明
3	解像度	IPファクスを送信する際に適用する標準の解像度を選択します。 • **普通**：標準の解像度に標準モードを適用します。 このモードは、普通サイズの文字で構成されたテキスト原稿をひんぱんに送信する場合に適しています。 • **精細**：標準の解像度に精細モードを適用します。 このモードは、細かい文字や細かな線画を含む原稿を送信する場合に適しています。 • **高精細**：標準の解像度に高精細モードを適用します。 このモードは、特に細かい文字や精密な線画を含む原稿を送信する場合に適しています。
4	原稿モード	IPファクスを送信する際に適用する標準の画質を選択します。 • **文字**：標準の画質モードに文字モードを適用します。 このモードは、テキスト原稿を送信する場合に適しています。 • **文字／写真**：標準の画質モードに文字／写真モードを適用します。 このモードは、テキスト、写真両方で構成された原稿を送信する場合に適しています。 • **写真**：標準の画質モードに写真モードを適用します。 このモードは、写真原稿を送信する場合に適しています。
5	濃度調整	IPファクスを送信する際に適用する標準の濃度を選択します。 原稿によって理想的な濃度を適用する［自動］を選択するか、手動で11段階の濃度を選択します。
6	発信元記録	送信者を識別する送信ヘッダを受信IPファクスに印刷するかを選択します。
	注 意 印刷される時刻は各ページの送信時刻です。	
7	受信元記録	受信した時刻、日付、ページ数を確認する受信ヘッダを受信IPファクスに印刷するか選択します。
8	切り捨て印刷	記録紙より大きな原稿を受信したときに、受信した原稿の下の部分を切り捨てるかを選択します。
9	縮小印刷	記録紙の印刷可能範囲より大きな原稿を受信したときに、受信した原稿を縮小するか選択します。
10	両面印刷	記録紙の両面に受信した原稿を印刷するか選択します。 自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。
11	縦横交互排紙 *1	受信ごとに、縦横交互に排紙方向を変えて排紙トレイに出力するか選択します。
12	復活送信	初期値で指定されているリダイヤル回数に失敗した後、メモリ内に保持した原稿を操作パネルで操作して送信することができます。 このオプションを有効にした場合は、1～24時間の範囲でデータを保持する時間を選択します。
13	通信管理記録自動印刷	送信管理記録や受信管理記録を設定した通信件数ごとに自動印刷するかを設定します。通信件数が40件または120件ごとの印刷設定を選択することがきます。詳細は、**設定管理ガイド**を参照してください。

	項目名	機能説明
14	メモリ送信結果表	メモリ送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 • **OFF**：メモリ送信レポートを印刷しません。 • **常時印刷**：メモリ送信を完了するたびにメモリ送信レポートを印刷します。 • **エラー時のみ印刷**：メモリ送信に失敗した場合にのみメモリ送信レポートを印刷します。 • **常時印刷（原稿付加）**：メモリ送信を完了するたびに、原稿の最初のページを添付したメモリ送信レポートを印刷します。 • **エラー時のみ印刷（原稿付加）**：メモリ送信に失敗した場合にのみ、原稿の最初のページを添付したメモリ送信レポートを印刷します。
15	同報送信結果表	同報送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 • **OFF**：同報送信レポートを印刷しません。 • **常時印刷**：同報送信を完了するたびに同報送信レポートを印刷します。 • **エラー時のみ印刷**：同報送信に失敗した場合にのみ同報送信レポートを印刷します。 • **常時印刷（原稿付加）**：同報送信を完了するたびに、原稿の最初のページを添付した同報送信レポートを印刷します。 • **エラー時のみ印刷（原稿付加）**：同報送信に失敗した場合にのみ、原稿の最初のページを添付した同報送信レポートを印刷します。
16	受信終了音	受信が終了した際にどのように受信終了音を鳴らすか選択します。 • **OFF**：受信終了音を鳴らしません。 • **印刷終了時**：印刷終了後に、受信終了音を鳴らします。 • **受信終了時**：受信終了後に、受信終了音を鳴らします。
17	送信終了音	送信が終了した際にどのように送信終了音を鳴らすか選択します。 • **OFF**：送信終了音を鳴らしません。 • **常時**：送信終了時に、送信終了音を常時、鳴らします。 • **エラー時**：送信がエラー終了時に、送信終了音を鳴らします。 • **正常時**：送信が正常終了時に、送信終了音を鳴らします。

	項目名	機能説明
18	機密受信	受信したIPファクスを出力せずに、機体内に保管する機密受信を設定します。 機密受信を使うことで、夜間や休日などの人がいない時間帯や不特定多数の人が立ち入る時間帯などに受信したIPファクスから情報が漏えいするのを防止できます。 • **有効**：機密受信を有効にします。 • **無効**：機密受信を無効にします。 • **週間予定**：機密受信を有効にするか無効にするかを曜日ごとに設定します。 機密受信を有効にする時間と無効にする時間を設定します。（24時間表示） - 終日機密受信を有効にしたい曜日には、無効/有効を 00:00/00:00 と設定します。 - 終日機密受信を無効にしたい曜日には、無効/有効を 00:00/24:00 と設定します。 機密受信したIPファクスを印刷するため［パスワード］と［パスワードの確認］を設定する必要があります。パスワードは、半角英数字と記号（! # ( ) *+ , - . / : ; = ? @ $ ^ _ ` { | } ~ \）で20文字まで入力できます。
	補 足 ここでは¥マークを「\（バックスラッシュ）」で表記しています。	

＊1　お使いの機種によっては選択できません。

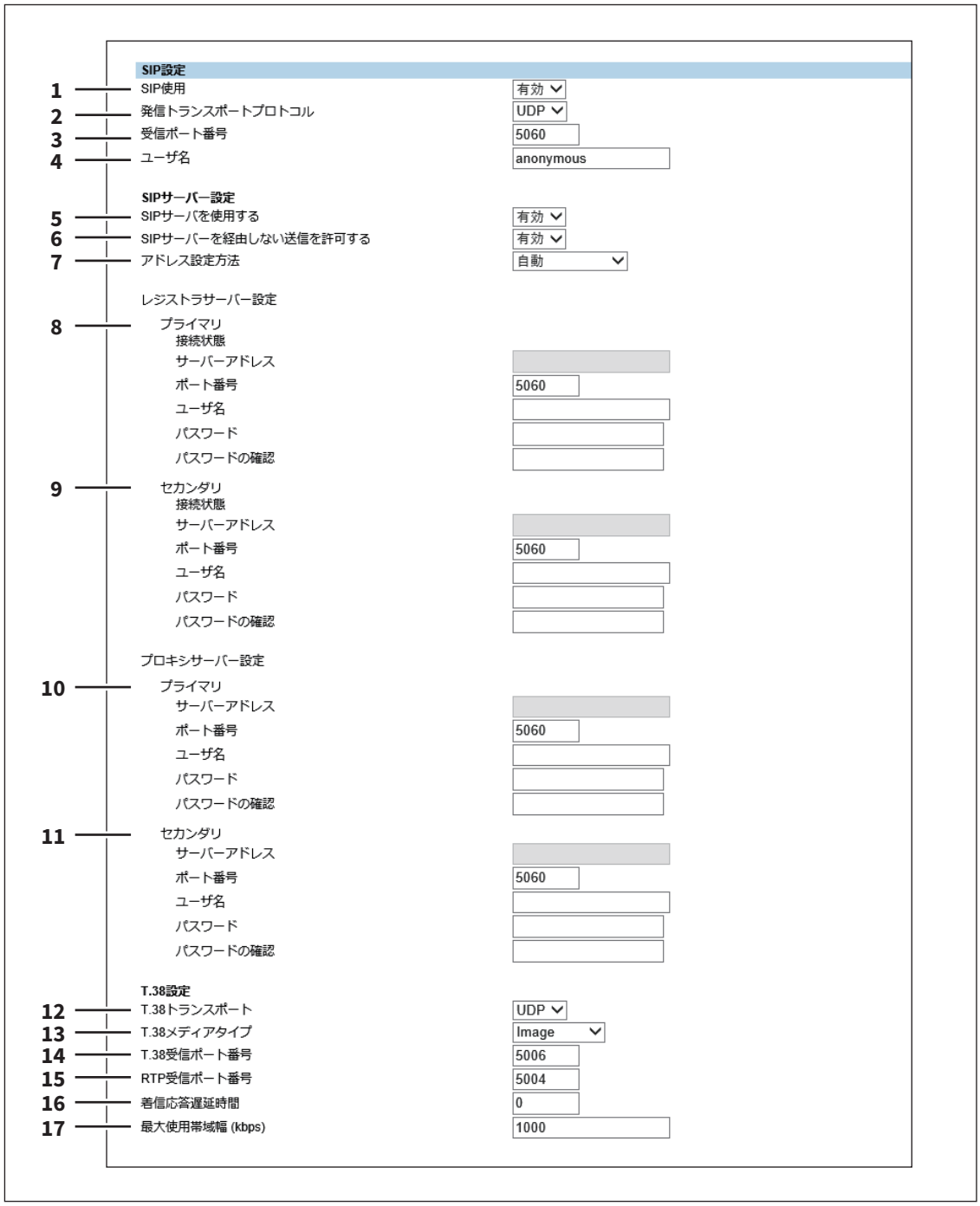
□ SIP設定

SIPサーバーを使用する場合に必要な設定を行います。

📖 P.26 「ゲートウェイ設定」
📖 P.27 「[ゲートウェイ情報作成] 画面」
📖 P.28 「レポート設定」

補 足

SIP設定を変更した場合は、接続が確認できるまでに時間がかかる場合があります。



	項目名	機能説明
1	SIP使用	SIP設定を有効にするかどうかを選択します。初期値は［無効］に設定されています。
2	発信トランスポートプロトコル	SIPでリクエストを送信する際に使用するトランスポートプロトコルを選択します。 • **UDP**：UDPを使用します。 • **TCP**：TCPを使用します。
3	受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定できます。通常は、初期値の「5060」を使用します。
4	ユーザ名	SIPサーバーに登録されているSIPユーザ名を入力します。半角英数字と記号（&()=+$,;?/-_.!~*'）で64文字まで入力できます。
5	SIPサーバーを使用する	SIPサーバーを使用するかどうかを選択します。初期値は［無効］に設定されています。
	注 意 • レジストラとプロキシサーバーの［サーバーアドレス］に、それぞれ1件も登録がない場合は［有効］にして保存できません。 • ［SIPサーバーを使用する］を有効にした場合、ゲートウェイ設定の［VoIPゲートウェイを使用する］を無効にしてください。有効にすると、SIPサーバーを経由しない受信も受け付けます。	
6	SIPサーバーを経由しない送信を許可する	本設定は、「SIPサーバーを使用する」を［有効］に設定した場合に適用します。SIPサーバーを使用せずIPファクスに対応した複合機へのダイレクト発信を許可します。初期値は［無効］に設定されています。
7	アドレス設定方法	IPアドレスを手動で設定するか、ネットワークから自動で取得するかを選択します。 • **手動**：SIPサーバーアドレスを手動で設定します。 • **自動**：DHCPサーバーから通知されるSIPサーバーアドレスを自動で取得します。 • **自動（DHCPv6）**：DHCPv6サーバーから通知されるSIPサーバーアドレスを自動で取得します。
	注 意 **自動（DHCPv6）**：［ネットワーク］-［基本設定］-［IPv6］の［設定の取得にDHCPv6を使用する］のチェックボックスにチェックが付いているときに、ステートレス、ステートフルにかかわらず選択することができます。	

	項目名	機能説明
8	レジストラサーバー設定/プライマリ	プライマリレジストラとセカンダリレジストラの両方が設定されている場合、プライマリレジストラが使用されます。 **接続状態**：最後に接続したときの状態を表示します。 • **(空白)**：サーバーアドレスが設定されていません。 • **登録済み**：サーバーに登録されています。 • **登録可**：サーバーに登録できる状態ですが、他のサーバーが使われています。 • **登録失敗**：サーバーへの登録に失敗しました。 **サーバーアドレス***：プライマリレジストラのホスト名またはIPアドレスを入力します。全角半角に関係なく128文字まで入力できます。［アドレス設定方法］が自動または自動（DHCPv6)の場合は、表示されません。 **ポート番号**：プライマリレジストラにパケットを送信する際のポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5060」を使用します。 **ユーザ名**：プライマリレジストラで認証するユーザ名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。 **パスワード**：プライマリレジストラで認証するパスワードを入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。 **パスワードの確認**：確認のためにパスワードを再入力します。
9	レジストラサーバー設定/セカンダリ	プライマリレジストラが使用できない場合は、セカンダリレジストラが使用されます。 **接続状態**：最後に接続したときの状態を表示します。 • **(空白)**：サーバーアドレスが設定されていません。 • **登録済み**：サーバーに登録されています。 • **登録可**：サーバーに登録できる状態ですが、他のサーバーが使われています。 • **登録失敗**：サーバーへの登録に失敗しました。 **サーバーアドレス***：セカンダリレジストラのホスト名またはIPアドレスを入力します。全角半角に関係なく128文字まで入力できます。［アドレス設定方法］が自動または自動（DHCPv6)の場合は、表示されません。 **ポート番号**：セカンダリレジストラにパケットを送信する際のポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5060」を使用します。 **ユーザ名**：セカンダリレジストラで認証するユーザ名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。 **パスワード**：セカンダリレジストラで認証するパスワードを入力します。半角の英数字と記号で64文字まで入力できます。 **パスワードの確認**：確認のためにパスワードを再入力します。

	項目名	機能説明
10	プロキシサーバー設定/プライマリ	プライマリプロキシサーバーとセカンダリプロキシサーバーの両方が設定されている場合、プライマリプロキシサーバーが使用されます。 **サーバーアドレス***：プライマリプロキシサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。全角半角に関係なく128文字まで入力できます。［アドレス設定方法］が自動または自動（DHCPv6)の場合は、表示されません。 **ポート番号**：プライマリプロキシサーバーにパケットを送信する際のポート番号1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5060」を使用します。 **ユーザ名**：プライマリプロキシサーバーで認証するユーザ名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。 **パスワード**：プライマリプロキシサーバーで認証するパスワード入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。 **パスワードの確認**：確認のためにパスワードを再入力します。
11	プロキシサーバー設定/セカンダリ	プライマリプロキシサーバーが使用できない場合は、セカンダリプロキシサーバーが使用されます。 **サーバーアドレス***：セカンダリプロキシサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。全角半角に関係なく128文字まで入力できます。［アドレス設定方法］が自動または自動（DHCPv6)の場合は、表示されません。 **ポート番号**：セカンダリプロキシサーバーにパケットを送信する際のポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5060」を使用します。 **ユーザ名**：セカンダリプロキシサーバーで認証するユーザ名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。 **パスワード**：セカンダリプロキシサーバーで認証するパスワードを入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。 **パスワードの確認**：確認のためにパスワードを再入力します。
12	T.38トランスポート	T.38セッションで優先的に使用するトランスポートプロトコルを設定します。SIPセッション確立後、データの送受信に使用するプロトコルを選択してください。 • **UDP**：UDPを使用します。 • **TCP**：TCPを使用します。
13	T.38メディアタイプ	T.38セッションで使用するメディアストリームの種類を設定します。SIPセッション確立後、データの送受信に使用するメディアストリームの種類を選択してください。 • **Image**：画像形式でデータを送受信します。 • **Application**：アプリケーション形式でデータを送受信します。
14	T.38受信ポート番号	T.38セッションの受信に使用する受信ポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5006」を使用します。
15	RTP受信ポート番号	RTP（Real-time Transport Protocol）の受信に使用する受信ポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5004」を使用します。
16	着信応答遅延時間	着信を検知してから着信動作を行うまでの遅延時間を入力します。0～32 secの範囲で設定します。通常は、初期値の「0」を使用します。
17	最大使用帯域幅(kbps)	IPファクス通信に使用する最大帯域幅を入力します。64～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「1000」を使用します。

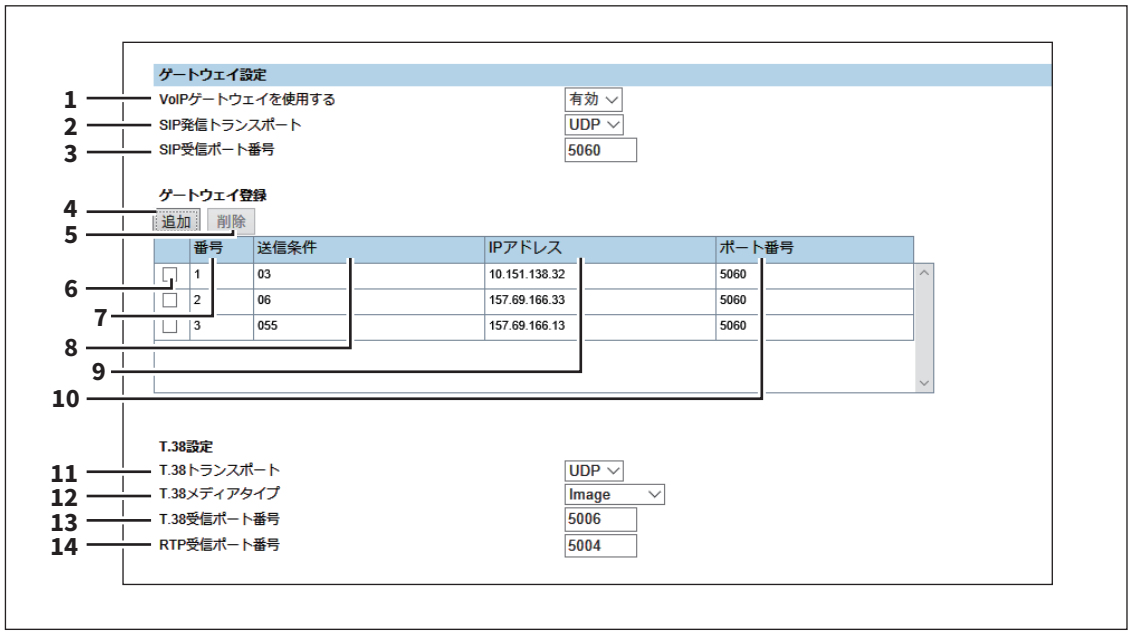
＊IPアドレスにIPv6を使用する場合は“[ ]”でくくってください（リンクローカルアドレスは使用できません）。
例：[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef]

ゲートウェイ設定

T.38対応ゲートウェイを使用する場合に必要な設定を行います。

補 足

T.38対応ゲートウェイは、50件まで登録することができます。

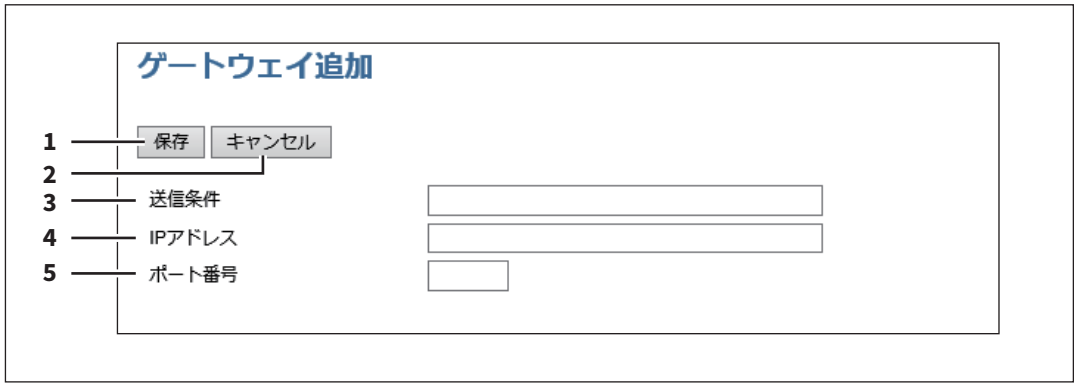


	項目名	機能説明
1	VoIPゲートウェイを使用する	T.38対応ゲートウェイを使用するかを選択します。初期値は［無効］に設定されています。
	注 意 SIPサーバーを使用する場合は［VoIPゲートウェイを使用する］を無効にしてください。有効にすると、SIPサーバーを経由しない受信も受け付けます。	
2	SIP発信トランスポート	T.38対応ゲートウェイにSIPでリクエストを送信する際に使用するトランスポートプロトコルを選択します。 • **UDP**：UDPを使用します。 • **TCP**：TCPを使用します。
3	SIP受信ポート番号	T.38対応ゲートウェイからSIPパケットを受信するポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5060」を使用します。
4	追加	新しいT.38対応ゲートウェイを追加します。 P.27 「［ゲートウェイ情報作成］画面」
5	削除	T.38対応ゲートウェイを一覧から削除します。
6	チェックボックス	削除するT.38対応ゲートウェイをチェックします。
7	番号	T.38対応ゲートウェイの登録番号を表示します。
8	送信条件	［ゲートウェイ情報作成］画面の送信条件に登録した番号を表示します。 P.27 「［ゲートウェイ情報作成］画面」
9	IPアドレス	［ゲートウェイ情報作成］画面のIPアドレスに登録したT.38対応ゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを表示します。 P.27 「［ゲートウェイ情報作成］画面」

	項目名	機能説明
10	ポート番号	［ゲートウェイ情報作成］画面のポート番号に登録した番号を表示します。T.38対応ゲートウェイにパケットを送信する際のポート番号を1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5060」を使用します。
11	T.38トランスポート	T.38セッションで優先的に使用するトランスポートプロトコルを設定します。SIPセッション確立後、データの送受信に使用するプロトコルを選択してください。 • **UDP**：UDPを使用します。 • **TCP**：TCPを使用します。
12	T.38メディアタイプ	T.38セッションで使用するメディアストリームの種類を設定します。SIPセッション確立後、データの送受信に使用するメディアストリームの種類を選択してください。 • **Image**：画像形式でデータを送受信します。 • **Application**：アプリケーション形式でデータを送受信します。
13	T.38受信ポート番号	T.38セッションの受信に使用するポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5006」を使用します。
14	RTP受信ポート番号	RTP（Real-time Transport Protocol）の受信に使用するポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5004」を使用します。

［ゲートウェイ情報作成］画面

新しいT.38対応ゲートウェイを登録することができます。

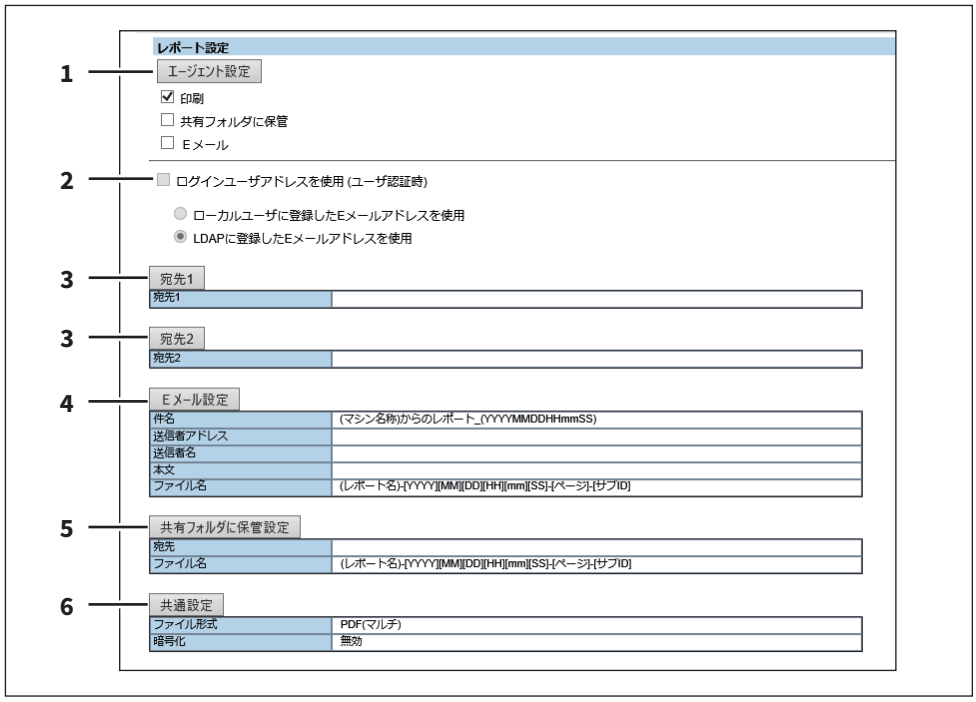


	項目名	機能説明
1	［保存］ボタン	設定したT.38対応ゲートウェイを保存します。
2	［キャンセル］ボタン	T.38対応ゲートウェイの登録を中止します。
3	送信条件	送信条件として、送信先のファクス番号の先頭数桁を入力します。数字と「#」、「*」、「-」を使用して12文字まで入力できます。1件のT.38対応ゲートウェイのみ、この欄に値を入力せずに登録することができます。
4	IPアドレス*	T.38対応ゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを入力します。半角の英数字と記号で128文字まで入力できます。
5	ポート番号	T.38対応ゲートウェイにパケットを送信する際のポート番号を入力します。1～65535の範囲で設定します。通常は、初期値の「5060」を使用します。

＊IPアドレスにIPv6を使用する場合は“[ ]”でくくってください（リンクローカルアドレスは使用できません）。
例：[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef]

レポート設定

IPファクスの結果レポートの設定を行います。



	項目名	機能説明
1	エージェント設定	以下の項目を選択して［エージェント設定］をクリックすると、詳細な設定ができます。 **印刷**：印刷します。［エージェント設定］での設定はありません。 **共有フォルダに保管**：ファイルに保存します。［エージェント設定］をクリックすると、［共有フォルダに保管設定］と［共通設定］が設定できます。 **Eメール**：メールで送信します。［エージェント設定］をクリックすると、宛先設定と［Eメール設定］、［共通設定］が設定できます。
	補 足 ［Eメール設定］、［共有フォルダに保管設定］、［共通設定］については、**TopAccessガイド**を参照してください。	
2	ログインユーザアドレスを使用（ユーザ認証時）	ユーザ認証時にログインユーザのEメールアドレスをEメール送信の宛先に使用するかどうかを設定します。チェックすると、以下の項目を設定できます。 **ローカルユーザに登録したEメールアドレスを使用**：内部認証のユーザに設定されたEメールアドレスを、Eメール送信の宛先に使用します。 **LDAPに登録したEメールアドレスを使用**：LDAPクライアントに登録されたサーバーのEメールアドレスを、Eメール送信の宛先に使用します。［サーバー割り当て］をクリックし、最大4つのLDAPサーバーを割り当てます。
	補 足 ［LDAPクライアントの設定］については、**TopAccessガイド**を参照してください。	
3	［宛先1］/［宛先2］ボタン	レポート設定で［Eメール］を選択して［エージェント設定］ボタンをクリックしたときに有効になります。 クリックすると宛先リストが表示され、宛先を設定できます。
	補 足 ［宛先1］/［宛先2］ボタンについては、**TopAccessガイド**を参照してください。	

	項目名	機能説明
4	［Eメール設定］ボタン	レポート設定で［Eメール］を選択して［エージェント設定］ボタンをクリックしたときに有効になります。 エージェント設定のページで、以下の項目を設定できます。 • 件名 • 送信者アドレス • 送信者名 • 本文 • ファイル名
	補 足 ［Eメール設定］については、**TopAccessガイド**を参照してください。	
5	［共有フォルダに保管設定］ボタン	レポート設定で［共有フォルダに保管］を選択して［エージェント設定］ボタンをクリックしたときに有効になります。 エージェント設定のページで、以下の項目を設定できます。 • 宛先 • ファイル名
	補 足 ［共有フォルダに保管設定］については、**TopAccessガイド**を参照してください。	
6	［共通設定］ボタン	レポート設定で［Eメール］または［共有フォルダに保管］を選択して［エージェント設定］ボタンをクリックしたときに有効になります。 エージェント設定のページで、以下の項目を設定できます。 • ファイル形式 • 暗号化
	補 足 ［Eメール設定］、［共有フォルダに保管設定］、［共通設定］については、**TopAccessガイド**を参照してください。	

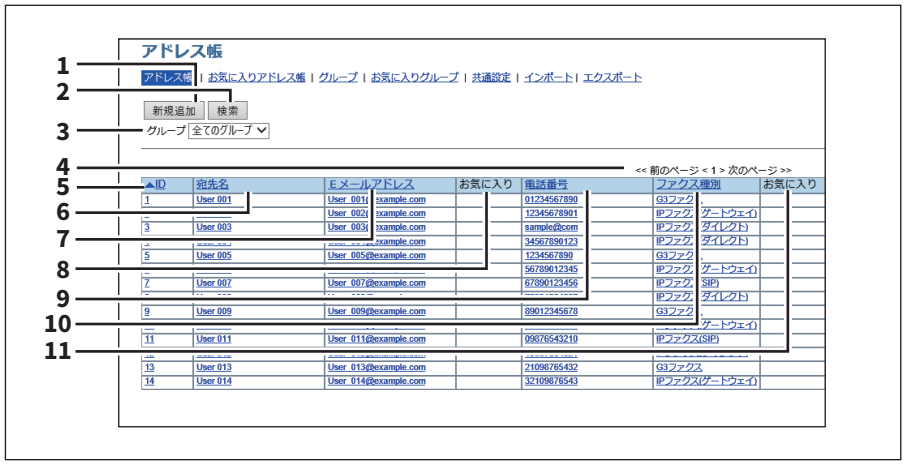
■ アドレス帳

IPファクス送信を実行する際に指定する、宛先リストを管理できます。
TopAccessを起動して、［登録］タブ >［アドレス帳］をクリックします。
📖 P.30 「［アドレス帳］画面」
📖 P.31 「［宛先情報作成］/［宛先情報編集］画面」
📖 P.33 「［検索結果リスト］画面」
📖 P.34 「［グループ情報作成］/［グループ情報編集］画面」

補 足

- アドレス帳の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- アドレス帳の管理は、本機の操作パネルから行うこともできます。
  📖 P.49 「アドレス帳（ユーザ設定）」
  📖 P.50 「グループを管理する（ユーザ設定）」

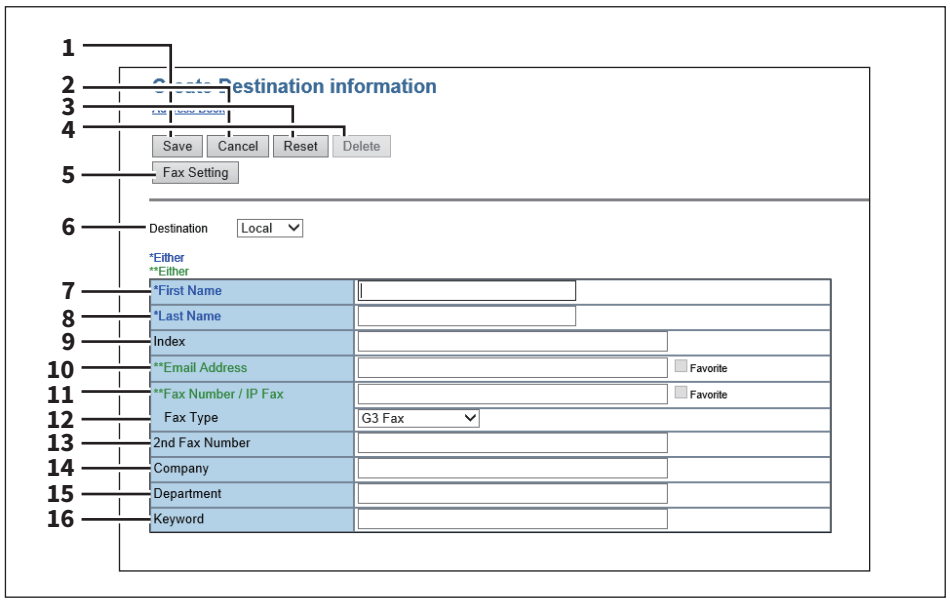
□［アドレス帳］画面



	項目名	機能説明
1	［新規追加］ボタン	アドレス帳に新しい宛先を追加します。 📖 P.31 「［宛先情報作成］/［宛先情報編集］画面」
2	［検索］ボタン	アドレス帳から宛先を検索します。［宛先検索］画面の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。
3	グループ	アドレス帳一覧に表示するグループを選択します。 • **全てのグループ**：すべてのグループを表示します。 • **ローカル**：ローカルアドレス帳を表示します。 • **共通**：共通アドレス帳を表示します。
	補 足 ［共通設定］の［共通アドレス帳］を［有効（プライマリ）］または［有効（セカンダリ）］にしているときのみ選択できます。	
4	ページ選択	101件以上ある場合に、ページを選択します。
5	ID	宛先の登録ID番号を表示します。 📖 P.31 「［宛先情報作成］/［宛先情報編集］画面」
6	宛先名	宛先に登録されている名称を表示します。 📖 P.31 「［宛先情報作成］/［宛先情報編集］画面」
7	Eメールアドレス	宛先に登録されているEメールアドレスを表示します。 📖 P.31 「［宛先情報作成］/［宛先情報編集］画面」
8	お気に入り	Eメールアドレスがお気に入りに設定されている場合にチェックが付きます。

	項目名	機能説明
9	電話番号	宛先に登録されている電話番号またはIPファクス番号を表示します。 P.31 「[宛先情報作成] / [宛先情報編集] 画面」
10	ファクス種別	宛先に登録されているファクス種別を表示します。 P.31 「[宛先情報作成] / [宛先情報編集] 画面」
11	お気に入り	ファクス番号/IPファクス番号がお気に入りに設定されている場合にチェックが付きます。

□[宛先情報作成] / [宛先情報編集] 画面



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力した情報を登録します。
2	[キャンセル] ボタン	宛先の追加や編集を中止します。
3	[リセット] ボタン	各ボックスに入力した情報を消去します。
4	[削除] ボタン	表示している宛先を削除します。
5	[ファクス設定] ボタン	ファクス/IPファクス用の宛先を登録します。[ファクス設定] 画面の設定は、**TopAccessガイド**を参照してください。
6	保存先	宛先をローカルアドレス帳にするか共通アドレス帳にするかを選択します。
	補 足 [共通設定] の [共通アドレス帳] を [有効 (プライマリ)] または [有効 (セカンダリ)] にしているときのみ選択できます。	
7	姓	宛先の姓を入力します。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「!」で置き換えられます。
8	名	宛先の名を入力します。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「!」で置き換えられます。
9	索引	索引用の文字を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「!」で置き換えられます。
10	Eメールアドレス	宛先のEメールアドレスを入力します。半角英数字で192文字まで入力できます。[お気に入り] にチェックを付けると、宛先がお気に入りに設定されます。

	項目名	機能説明
11	電話番号/IPファクス	宛先の電話番号またはIPファクス番号（ホスト名、IPアドレス、IPファクス番号またはSIP URI）を入力します。電話番号とIPファクス（ゲートウェイ、SIP）は、全角半角に関係なく128文字まで入力できます。IPファクス（ダイレクト）は、全角半角に関係なく199文字まで入力できます。［お気に入り］にチェックを付けると、宛先がお気に入りに設定されます。
	注 意 SIP URIの形式は「ユーザ名＋@＋ホスト名またはIPアドレス」または「ユーザ名＋@＋ホスト名またはIPアドレス：ポート番号」としてください。IPアドレスにIPv6を使用する場合は“[ ]”でくくってください（リンクローカルアドレスは使用できません）。 例： User1@192.168.1.1 User1@host.local User1@[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef] User1@192.168.1.1:5060 User1@host.local:5060 User1@[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef]:5060	
12	ファクス種別	宛先のファクス種別を選択します。 • **G3ファクス**：公衆回線網でファクスを送信します。 • **IPファクス（ゲートウェイ）**：IPファクスをT.38対応ゲートウェイ経由でG3ファクス機に送信します。 • **IPファクス（SIP）**：IPファクスに対応した複合機にSIPサーバー経由でIPファクスを送信します。 • **IPファクス（ダイレクト）**：IPファクスに対応した複合機にサーバーなどを経由せずに直接IPファクスを送信します。
13	電話番号2	IPファクス機能では使用できません。
14	会社名	宛先の会社名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「！」で置き換えられます。
15	部署名	宛先の部署を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「！」で置き換えられます。
16	備考	宛先についてのコメントを入力します。全角半角に関係なく256文字まで入力できます。使用できない文字を入力した場合「！」で置き換えられます。

注 意

［姓］または［名］と、［Eメールアドレス］または［電話番号/IPファクス］は入力必須項目です。

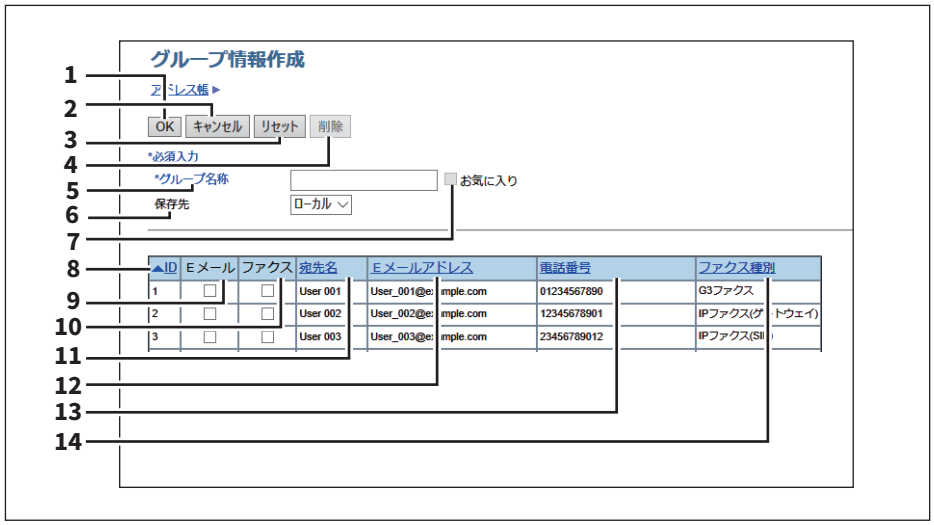
□［検索結果リスト］画面

検索結果リストから選択して、アドレス帳に追加します。

	項目名	機能説明
1	［追加］ボタン	検索結果リストで選択されている宛先をアドレス帳に追加します。
2	［キャンセル］ボタン	検索結果リスト表示を中止します。
3	［検索条件変更］ボタン	［宛先検索］画面に戻ります。検索条件を変更して、再度検索できます。
4	ファクス種別	［宛先検索］画面の［LDAPサーバー名］にLDAPサーバーを選択した場合に表示します。 宛先のファクス種別を選択します。 • **G3ファクス**：公衆回線網でファクスを送信します。 • **IPファクス（ゲートウェイ）**：IPファクスをT.38対応ゲートウェイ経由でG3ファクス機に送信します。 • **IPファクス（SIP）**：IPファクスに対応した複合機にSIPサーバー経由でIPファクスを送信します。 • **IPファクス（ダイレクト）**：IPファクスに対応した複合機にサーバーなどを経由せずに直接IPファクスを送信します。
	補 足 ［LDAPクライアントの設定］については、**TopAccessガイド**を参照してください。	
5	該当件数	検索された宛先の件数を表示します。
6	チェックボックス	アドレス帳に登録する宛先をチェックします。
7	宛先名	検索結果を表示します。
8	Eメールアドレス	
9	電話番号	
10	ファクス種別	

□［グループ情報作成］/［グループ情報編集］画面

複数の宛先を割り当てたグループを作成します。
グループ機能を使用すれば、IPファクスを複数の宛先に送信する際に、それらの宛先を個別に選択する手間を省くことができます。



	項目名	機能説明
1	［OK］ボタン	選択した宛先をグループとして登録します。
2	［キャンセル］ボタン	グループ登録を中止します。
3	［リセット］ボタン	内容をリセットします。
4	［削除］ボタン	表示しているグループを削除します。
5	グループ名称	グループ名称を入力します。全角半角に関係なく20文字まで入力できます。
6	保存先	グループをローカルアドレス帳にするか共通アドレス帳にするかを選択します。
	補 足 ［共通設定］の［共通アドレス帳］を［有効（プライマリ）］または［有効（セカンダリ）］にしているときのみ選択できます。	
7	お気に入り	チェックを付けると、グループがお気に入りに設定されます。
8	ID	宛先の登録ID番号を表示します。
9	Eメール	宛先にEメールの情報が設定されている場合、Eメールアドレスをグループ登録するときに選択します。
10	ファクス	宛先に電話番号の情報が設定されている場合に、ファクス番号をグループ登録するときに選択します。
11	宛先名	宛先に登録されている宛先名を表示します。
12	Eメールアドレス	宛先に登録されているEメールアドレスを表示します。
13	電話番号	宛先に登録されている電話番号またはIPファクス番号を表示します。
14	ファクス種別	宛先に登録されているファクス種別を表示します。

4

IPファクス機能を使用する

操作パネルからIPファクス機能を使用する 36
送信/受信 36
［設定/登録］ 47

N/W-Faxドライバから IPファクス機能を使用する 56
IPファクスを送信する 56
IPファクスの宛先を指定する 60
宛先の削除 69
［送信］タブの設定 70
［デバイス設定］タブの設定 72

TopAccessからIPファクス機能を使用する 75
ログ 75
テンプレート 78
Fコード／ファクス受信転送（振分け） 80
ロール管理 82
レポート通知設定 85
IPファクス受信転送（管理者設定） 87

P.36 「送信/受信」
P.47 「[設定/登録]」

■ 送信/受信

IPファクスの基本的な送信/受信について説明します。

P.36 「IPファクスを送信する」
P.38 「宛先を指定する」
P.44 「受信方法」
P.46 「通信状況を確認する／送信予約を確認する」
P.46 「送信の取り消しをする」

補 足

IPファクス機能以外の項目については、**ファクスガイド**を参照してください。

□ IPファクスを送信する

IPファクスの基本的な送信手順を説明します。操作方法の詳細は、各手順に書かれた参照先をご覧ください。

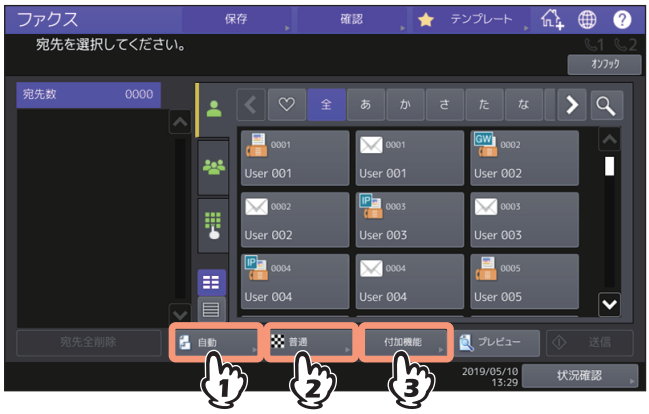
1 原稿をセットします。

原稿のサイズや読み取り範囲などをよく確認し、原稿ガラスまたは自動原稿送り装置に正しい方向でセットしてください。
操作の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

2 ホーム画面で［ファクス］を押します。

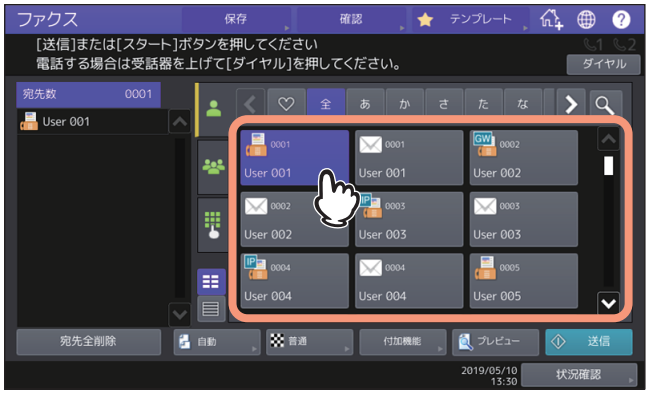
ファクス画面が表示されます。なお、何も操作しないままオートクリア設定時間（初期設定45秒）が経過すると、初期画面へ自動的に戻ります。

3 原稿サイズ、解像度および必要な送信条件を設定します。



送信条件設定画面の詳細については、**ファクスガイド**を参照してください。

4 IPファクスの宛先を指定します。



アイコン	ファクス種別
	G3ファクス
	IPファクス ゲートウェイ
	IPファクス SIP
	IPファクス ダイレクト
	Eメール

宛先の指定は複数の方法があります。詳細は、以下のページを参照してください。
P.38 「宛先を指定する」
IPファクスを送信する前にタッチパネルで内容を確認することができます。［プレビュー］の操作については、**ファクスガイド**を参照してください。

5 ［送信］を押します。

IPファクスが送信（または送信予約）されます。

補 足

- ［送信］の代わりに、操作パネルの［スタート］ボタンを押してもIPファクスを送信できます。
- ［付加機能］-［ファクス設定］-［ファクス設定］画面の［ダイレクト送信］は、IPファクスでは使用できません。宛先リストにIPファクスの宛先がある場合は、［メモリ送信］が選択されます。
- IPファクス送信の場合、原稿をいったんメモリへ蓄積してから自動的に送信します。（送信方法は送信条件設定画面にて設定します。）
- 原稿読み取り途中にメモリオーバーが発生すると、その原稿はメモリへ蓄積されません。その際には、原稿の枚数を減らしてください。
- 現在の送信状況を確認したり、送信を中止（ジョブ削除）したりすることができます。
  ファクスガイドの「送信予約を確認する」または 「送信予約を取り消す」を参照してください。
- 「リダイヤル機能」および「次原稿の送信」については、**ファクスガイド**を参照してください。

□ 宛先を指定する

IPファクスの宛先を指定します。操作パネルから直接ダイヤルする方法、アドレス帳から選択する方法など、各種の指定方法があります。

P.38 「直接ダイヤルする」
P.39 「アドレス帳から選択する」
P.40 「アドレス帳/LDAPサーバーから検索して指定する」
P.43 「アドレス帳からグループを選択する」

補 足

- アドレス帳を利用するためには、あらかじめアドレス帳に宛先のIPファクス番号を登録しておく必要があります。
  操作の詳細は、以下を参照してください。
  P.30 「アドレス帳」
  P.49 「アドレス帳（ユーザ設定）」
  P.50 「グループを管理する（ユーザ設定）」
- **同報送信するには**
  送信方法がメモリ送信の場合、複数の宛先（最大400件）を指定して同報送信を行うことができます。番号を入力した後に［次宛先］を押すと、入力した番号が画面左側の宛先一覧に追加されます。この操作を必要回数繰り返してください。他の方法と組み合わせて宛先（合計最大400件）を指定することも可能です。

直接ダイヤルする

タッチパネルからIPファクス番号を入力して宛先を指定します。

1 **を押します。**

2 宛先種別を選択します。

[ゲートウェイ]：T.38対応ゲートウェイ経由で、IPファクスをG3ファクス機に送信します。
[SIP]：IPファクスに対応した複合機に、IPファクスをSIPサーバー経由で送信します。

補 足

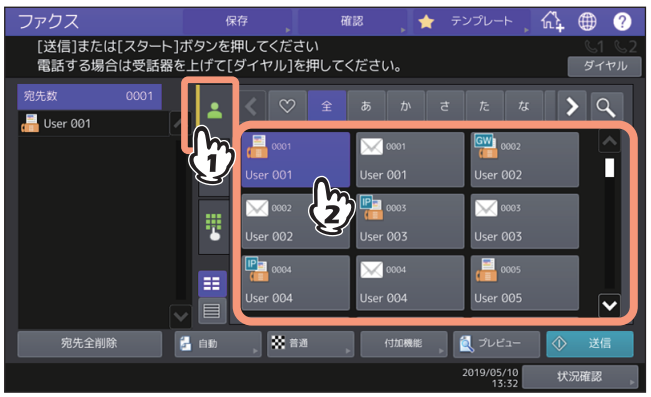
- IPファクスダイレクト送信はできません。
- ［G3］は、公衆回線網を使用したG3ファクスです。［インターネットファクス］は、インターネットファクスの宛先（Eメールアドレス）を直接入力してEメールを送る場合に使用します。

3 宛先のIPファクス番号を入力し、［送信］を押します。

アドレス帳から選択する

アドレス帳から宛先を選択して指定します。

1 タブで、目的の宛先を押します。



- 選択済みの宛先を再度押すと、その選択が取り消されます。
- 画面左側の宛先一覧で宛先を押すと、指定した宛先を確認したり、不要な宛先を削除したりすることができます。

宛先の確認と削除については、**ファクスガイド**を参照してください。

- を押すと、特定の文字が含まれる項目のみを絞り込み検索できます。
  P.40 「アドレス帳/LDAPサーバーから検索して指定する」

補 足

アドレス帳登録時にお気に入り項目や索引項目を入力しておくと、（お気に入り）タブまたはインデックスタブに該当の宛先だけが表示されます。

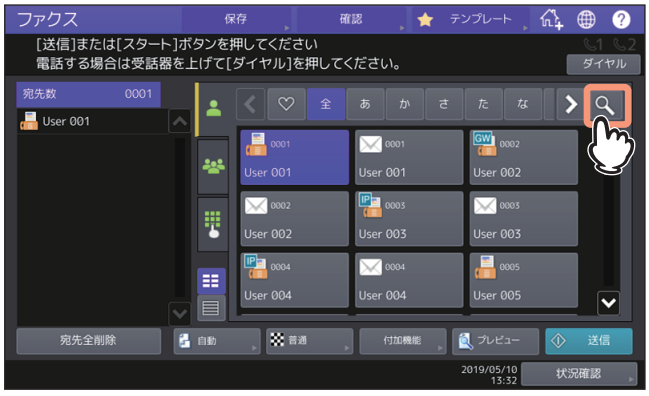
アドレス帳/LDAPサーバーから検索して指定する

アドレス帳またはLDAPサーバーから宛先を検索して指定します。

補 足

LDAP（Lightweight Directory Access Protocol）サーバーを検索先として利用するためには、接続可能なLDAPサーバー名が複合機にあらかじめ登録されている必要があります。LDAPサーバーに関する詳細は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 タブまたは タブで、を押します。



- アドレス一覧を表示した状態でを押すと、宛先の検索画面が表示されます。LDAPサーバーを検索先とする場合は、この操作を行ってください。
- グループ一覧を表示した状態でを押すと、グループの検索画面が表示されます。

2 検索する項目を入力して、[検索実行]を押します。

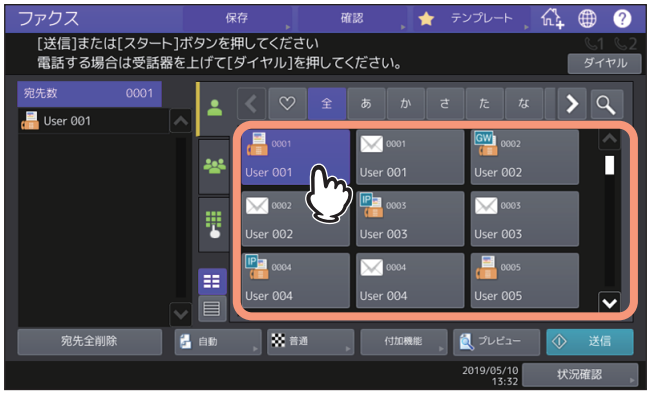
複数の項目を入力して、AND（すべての項目を含む）検索をすることができます。
検索条件に入力する文字列は一部分のみでも検索が可能です。複数の項目を入力した場合は入力したすべての条件を満たすもののみが検索結果に表示されます。

- **設置場所**
  検索するアドレス帳の保存場所を選択します。「MFPローカル」を選択すると、本機のアドレス帳および共通アドレス帳の検索が可能です。

- **ID番号検索**
  アドレス帳に登録されたID番号で検索したい場合に使用します。IDは範囲指定をして検索することができます。
- **索引**
  アドレス帳に登録された索引で検索したい場合に使用します。
- **姓**
  アドレス帳に登録された姓で検索したい場合に使用します。
- **名**
  アドレス帳に登録された名前で検索したい場合に使用します。
- **会社名**
  アドレス帳に登録された会社名で検索したい場合に使用します。
- **部署名**
  アドレス帳に登録された部署名で検索したい場合に使用します。
- **備考**
  アドレス帳に登録された備考に書かれた文字で検索したい場合に使用します。
- **電話番号**
  アドレス帳に登録された電話番号/IPファクス番号で検索したい場合に使用します。
- **Eメール**
  アドレス帳に登録されたEメールアドレスで検索したい場合に使用します。
- **送信形式**
  電話番号/IPファクス番号またはEメールアドレスのどちらかのみを検索したい場合に使用します。

LDAPサーバーの選択
LDAPサーバーから宛先を検索する場合は、宛先の検索画面で「設置場所」から検索先とするLDAPサーバーを選択してください。

3 検索結果が表示されるので、目的の宛先を選択します。



- 選択済みの宛先を再度押すと、その選択が取り消されます。
- 検索条件を変更する場合には、［検索条件変更］を押します。手順2の画面に戻りますので、再度検索条件を指定してください。
- ［ID番号順］または［索引順］を選択することで、表示を切り替えることができます。

注 意

- LDAPサーバーから宛先を検索した場合は、［宛先種別］画面が表示されます。宛先種別を選択し、［OK］を押してください。
  ［G3］：公衆回線網を使用してG3ファクスを送信します。
  ［ゲートウェイ］：T.38対応ゲートウェイ経由で、IPファクスをG3ファクス機に送信します。
  ［SIP］：IPファクスに対応した複合機に、IPファクスをSIPサーバー経由で送信します。
  ［ダイレクト］：IPファクスに対応した複合機、直接IPファクスを送信します。
- 下記の使用条件ではLDAPサーバーから宛先の検索を行っても［宛先種別］画面は表示されません。宛先はすべてG3ファクスとして送信します。
  - ホーム画面の［設定/登録］画面から、［ファクス設定］画面の送信方法に”ダイレクト送信”を選択している場合
    P.47 「[設定/登録]」
  - ファクスメニュー画面の［付加機能］設定ボタンを押して表示する［ファクス設定］画面で、送信方法に”ダイレクト送信”を選択している場合
  - ［オンフック］ボタンが押されている場合

4 ［送信］を押します。

アドレス帳からグループを選択する

アドレス帳からグループを選択して宛先を指定します。

1 **タブで、送信先のグループを選択します。**

- 選択済みのグループを再度押すと、その選択が取り消されます。
- グループに登録されている電話番号/IPファクス番号またはEメールアドレスを確認するには、［内容表示］を押します。
- 画面左側の宛先一覧で宛先を押すと、指定した宛先を確認したり、不要な宛先を削除することができます。
  宛先の確認と削除については、**ファクスガイド**を参照してください。
- を押すと、特定の文字が含まれる項目のみを絞り込み検索できます。
  P.40 「アドレス帳/LDAPサーバーから検索して指定する」

□ 受信方法

IPファクスの受信方法について説明します。現在設定されている受信モードに応じて、各項目を参照してください。受信モードや着信モードは管理者メニューにより設定します。現在の設定に関する詳細は、管理者へお問い合わせください。

📖 P.44 「自動受信」
📖 P.44 「メモリ受信」
📖 P.44 「受信したIPファクスのプレビューを表示する」

補 足

- 受信原稿と記録紙の詳細については、**ファクスガイド**を参照してください。
- IPファクスの受信設定は、TopAccessで変更することができます。
  📖 P.18 「IPファクス設定」

自動受信

着信すると自動的にIPファクスを受信します。IPファクスを受信する際、ユーザの操作は必要ありません。

メモリ受信

受信したIPファクスのデータをメモリへ蓄積し、複合機が印刷可能な状態になり次第、自動的にIPファクスの印刷を行います。メモリ受信機能は常に有効ですので、設定操作を行う必要はありません。

受信したIPファクスのプレビューを表示する

機密受信（IPファクス）またはホールド印刷（ファクス）で受信したIPファクスを印刷する前にタッチパネルで内容を確認できます。

1 ホーム画面で［プリント］を押します。

印刷画面が表示されます。なお、何も操作しないままオートクリア設定時間（出荷時設定45秒）が経過すると、初期画面へ自動的に戻ります。

2 ジョブタイプに［機密受信（IPファクス）］または［ホールド印刷（ファクス）］を選択します。

補 足

- を押すと受信しているIPファクスがリスト表示されます。
- リスト表示から受信したIPファクスを削除する場合は、削除したい受信ファイルを選択して［削除］を押します。
  を押すと受信しているIPファクスがサムネイル画像で表示されます。
- サムネイル表示から受信したIPファクスを削除する場合は、削除したいサムネイル画像を選択して［削除］を押します。
- 削除/印刷/文書確認/サムネイル表示のいずれかの操作を初めて行ったときにパスワード入力が必要です。

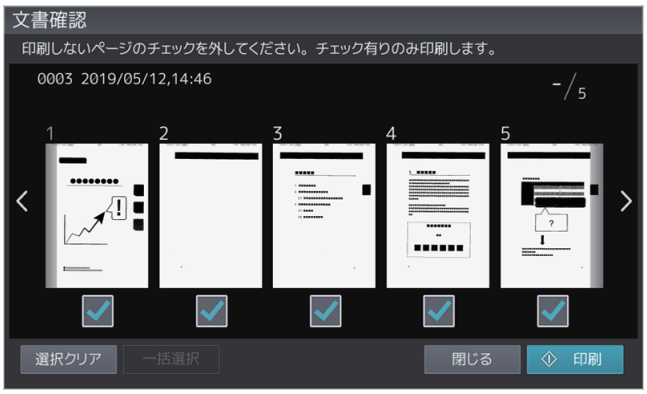
3 **[文書確認] を押します。**

4 **[回線指定] の [IPファクス] を選択します。[機密受信（IPファクス)] を選択した場合は、機密受信の印刷用パスワードを入力します。**

補 足

[IPファクス] を選択し、パスワードを入力して [OK] を押すと マークが消えます。他の画面に切り替えた後で、この画面に戻ってプレビューや印刷を行う場合にパスワードの入力が必要です。

5 **プレビュー表示されたらIPファクス画像やページ数を確認します。そのまま印刷する場合は、[印刷] を押してください。印刷が開始されます。**

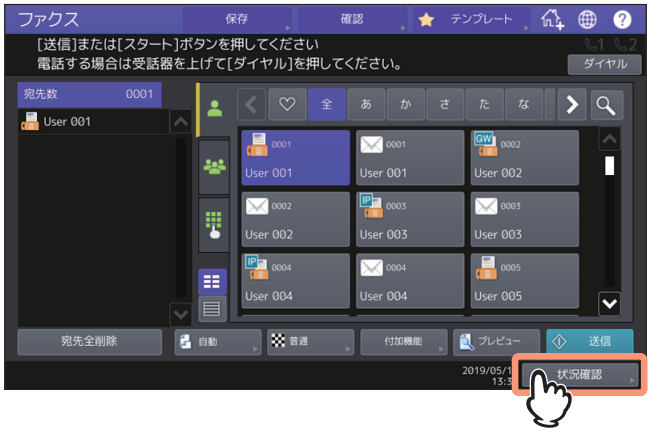


- 確認したいページを選択すると、そのページが拡大されプレビュー操作をすることができます。表示の拡大・縮小やページを回転することができます。
- 回転させたいページの を押してください。 を押すごとに時計回りに90度回転します。
- 印刷しないページは、選択中の を押してチェックマークを外してください。

□ 通信状況を確認する／送信予約を確認する

IPファクスの送信予約状況を確認します。

1 ［状況確認］を押します。



2 ［ファクス］を押します。

- 送信予約が古い順に上から最大100件リストアップされます。
- ［予約リスト］を押すと、送信予約の一覧を印刷することができます。
- 「状態」欄に表示される情報には、以下のような意味があります。
  - **IP**：IPファクスの送信中。
  - **時刻指定**：実行する時刻が指定されている送信予約。
  - **実行待ち**：実行を待機している送信予約。
  - **部門コードなし**：部門コードエラーにより実行を待機しているネットワークIPファクスの送信予約。部門コードを確認してください。不要な送信予約は削除してください。それぞれの操作方法については、**ファクスガイド**を参照してください。

通信履歴を確認する

通信（送信/受信）履歴を確認する操作については、**ファクスガイド**を参照してください。
通信履歴一覧表示の［結果］欄に表示される情報には、以下のような意味があります。
OK：送信または受信が正常に完了。
エラーコード（4桁）：送信または受信の際にエラーが発生。
エラーコードの詳細については、以下のページを参照してください。
📖 P.103 「IPファクス機能に関するエラーコード」

□ 送信の取り消しをする

「メモリ送信ジョブを取り消す」、「原稿の読み取りを中断する」「送信予約を取り消す」操作については、**ファクスガイド**を参照してください。

■ [設定/登録]

本機の操作パネルで行うIPファクスの設定について説明します。

P.47 「ファクス設定（ユーザ設定）」
P.48 「リスト印刷（ユーザ設定）」
P.49 「アドレス帳（ユーザ設定）」
P.50 「グループを管理する（ユーザ設定）」
P.51 「ネットワーク設定（管理者設定）」
P.54 「ファクス設定（管理者設定）」

□ ファクス設定（ユーザ設定）

IPファクス機能の初期設定を［ファクス設定］画面で変更します。
ファクス設定画面を表示する手順については、**設定管理ガイド**の「ユーザ設定メニューに入る」を参照してください。

項目名	機能説明
解像度	原稿の精細度に応じた読み取り解像度を選択します。初期値は［普通］に設定されています。 • **普通**：普通の大きさの文字による原稿に適しています。 • **精細**：小さな文字や細かい図などを含む原稿に適しています。 • **高精細**：精密な図などを含む原稿に適しています。 補 足 宛先の装置に同じ解像度の受信能力がない場合は、解像度を自動的に変換して送信します。また、解像度を細かくするほど送信時間は長くなります。
原稿モード	原稿のタイプに応じた読み取りモードを選択します。初期値は［文字］に設定されています。 • **文字**：文字や線画による原稿に適しています。 • **文字/写真**：文字と写真が混在している原稿に適しています。 • **写真**：写真原稿に適しています。 補 足 文字/写真モードと写真モードは、文字モードよりも送信時間が長くなることがあります。
送信方法	ファクスの送信方法です。初期値は［メモリ送信］に設定されています。 • **メモリ送信：**原稿をいったんメモリへ蓄積してから自動的に送信します。メモリ送信は、1送信当たり最大1000ページ、100件まで予約することができます。IPファクス送信を行う場合は、［メモリ送信］を選択してください。IPファクスではダイレクト送信することができません。 • **ダイレクト送信：**直ちに宛先へ接続して原稿の送信を開始します。1ページごとに読み取りと送信を繰り返しますので、複数ページの原稿などは送信操作完了までに時間がかかりますが、宛先へ送信していることをその場で確認することができます。
濃度	原稿の読み取り濃度の初期値を設定します。 濃度を手動で設定する場合は、◁ または ▷ を押し任意の濃度を設定します。 原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、［自動］を押します。
LDAP検索結果の初期宛先種別	LDAPサーバーの検索結果を押して表示する宛先種別の初期表示を設定します。

項目名	機能説明
機密受信強制設定	機密受信の設定を有効または無効にすることができます。 週間予定が設定されている場合にのみ操作可能です。 • **ON**：機密受信を有効にします。ON→有効 補 足 週間予定で設定されている時刻に無効になります。 • **OFF**：機密受信を無効にします。　OFF→無効 補 足 • 週間予定で設定されている時刻に有効になります。 • 管理者パスワードが必要です。
受信元記録（IPファクス）	受信元情報付加印刷のオン/オフを切り替えます。これをオンにする場合は、あらかじめ本機の自局名を登録しておく必要があります。
発信元記録（IPファクス）	発信元情報付加送信のオン/オフを切り替えます。これをオンにする場合は、あらかじめ本機の自局名を登録しておく必要があります。
プレビュー設定	プレビュー機能を有効にすると、IPファクスを送信する前に、スキャンイメージを表示し確認することができます。 • **ON**：この機能を有効にします。 • **OFF**：この機能を無効にします。
複数宛先送信前確認	複数の宛先指定時に確認画面を表示するかを設定します。
初期アドレス帳	アドレス帳で初期表示するタブを選択します。
個人用タブ初期表示形式	アドレス帳の個人用タブの初期表示形式を選択します。
グループタブ初期表示形式	アドレス帳のグループタブの初期表示形式を選択します。
直接入力の初期宛先種別	テンキータブを押して表示する宛先種別の初期表示を設定します。

□ リスト印刷（ユーザ設定）

この機能では、以下のリストを印刷できます。

補 足

- リスト印刷画面を表示する手順は、**設定管理ガイド**を参照してください。
- リスト印刷では、A4-Rに設定されたカセットの用紙を優先的に使用して、排紙トレイに排紙します。

項目名	機能説明
アドレス帳リスト	アドレス帳に登録されている宛先の一覧を印刷します。 • **ID番号順**：ID番号で並べ替えられたアドレス帳登録リストを印刷します。 • **名称順**：フリガナ順に並べ替えられたアドレス帳登録リストを印刷します。
グループリスト	アドレス帳にグループ登録されている宛先の一覧を印刷します。
システム設定リスト	システム設定リスト（ユーザ設定）を印刷します。
Fコード	本機に現在登録されているメールボックスの一覧を印刷します。

本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し［OK］を押すと各リストが印刷されます。ただし、白黒無制限が有効な場合には、部門コードの入力画面は表示されず、各リストが印刷されます。
白黒無制限の設定については、**設定管理ガイド**を参照してください。

□ アドレス帳（ユーザ設定）

アドレス帳に登録した宛先は、ホーム画面の［ファクス］を押したときに表示される画面などで、宛先一覧として表示されます。IPファクスを送信するときに、宛先一覧を選択して、簡単に送信先を指定できます。アドレス帳には、3000件の宛先を登録できます。

補 足

- アドレス帳メニューを表示する手順は、**設定管理ガイド**を参照してください。
- ［区点コード］から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、**設定管理ガイド**を参照してください。

アドレス帳メニューの［個人用］タブでは、宛先を管理するために以下の操作を行うことができます。
📖 P.49 「宛先の登録」
📖 P.50 「宛先の編集／削除」
📖 P.50 「宛先の検索」
📖 P.50 「宛先の検索結果の表示順設定」

補 足

- アドレス帳のデータは、TopAccessの管理者モードからインポートまたはエクスポートすることができます。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。
- IPファクス機能を使用できる複合機で作成されたアドレス帳、Fコード、テンプレートのデータは、IPファクス機能をサポートしていない複合機にはインポートできません。

宛先の登録

［設定/登録］から新しい宛先をアドレス帳に登録します。

1 アドレス帳一覧画面で空欄の行を押して、［登録］を押して、宛先を登録します。

項目名	機能説明
姓	宛先の姓を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。
名	宛先の名を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。
索引	宛先の索引を入力します。全角カタカナで64文字まで入力できます。
会社名	宛先の会社名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。
部署名	宛先の部署名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。
備考	必要に応じて、宛先のキーワードを入力します。このキーワードでも宛先を検索することができます。全角半角に関係なく256文字まで入力できます。
電話番号/IPファクス	**種別**：宛先種別として［G3］、［ゲートウェイ］、［SIP］、［ダイレクト］のいずれかを選択します。 **宛先**：宛先の電話番号またはIPファクス番号を入力します。電話番号とIPファクス（ゲートウェイ、SIP）は全角半角に関係なく128文字まで入力できます。IPファクス（ダイレクト）は、全角半角に関係なく199文字まで入力できます。お気に入りボタンを押すと、アドレス帳のお気に入りタブに登録したアドレスを表示します。
電話番号2	IPファクス機能では使用できません。
Eメール	宛先のEメールアドレスを入力します。半角数字で192文字まで入力できます。お気に入りボタンを押すと、アドレス帳のお気に入りタブに登録したアドレスを表示します。

注 意

- ［姓］または［名］と、［Eメール］または［電話番号/IPファクス］は入力必須項目です。
- 付加機能は、宛先がG3ファクスの場合のみ有効です。
- 付加機能についての詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

2 ［OK］を押して、宛先を登録します。

宛先の編集／削除

アドレス帳一覧画面で宛先を押して、［編集］を押すと、宛先を編集できます。宛先を押して、［削除］を押すと、宛先を削除できます。

宛先の検索

アドレス帳一覧画面で検索アイコンを押すと、検索画面が表示されます。検索項目を入力して宛先を検索できます。

宛先の検索結果の表示順設定

アドレス帳一覧画面で［設定］を押すと、宛先の検索結果の表示順を［ID番号順］と［索引順］のいずれかに設定できます。

□ グループを管理する（ユーザ設定）

複数の宛先を含むグループを作成します。IPファクス送信の際に個別に宛先を指定することなく、グループに登録された複数の宛先を一括で指定できます。
アドレス帳には最大200グループ、また1つのグループには最大400件の宛先を登録できます。

注 意

1件のアドレス帳に対して、ファクス番号とIPファクス番号を同時に登録することはできません。
1件のアドレス帳には、2件の宛先（ファクス番号またはIPファクス番号とEメールアドレス）を登録することができます。

アドレス帳メニューの［グループ］タブでは、グループを管理するために以下の操作を行うことができます。
📖 P.50「グループの登録」
📖 P.50「グループの編集／削除」
📖 P.51「グループの検索」
📖 P.51「グループメンバの確認」

グループの登録

アドレス帳一覧画面で空欄の行を押し、［登録］を押して、グループを登録します。
グループ名称、索引を入力して、グループに含める宛先を選択します。検索アイコンを押して宛先を検索することもできます。

グループの編集／削除

アドレス帳一覧画面でグループタブを選択し、グループを押して、［編集］を押すと、グループを編集できます。グループに含める宛先を追加または削除できます。グループを押し、［削除］を押すと、グループを削除できます。

注 意

グループを削除しても、［個人用］タブの宛先のデータは削除されません。ただし、［個人用］タブで宛先のデータを削除すると、その宛先は登録されているグループからも削除されます。

補 足

- ファクス番号／IPファクス番号、Eメールアドレスをすべてグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、を選択します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、を選択します。
- 宛先のIPファクス（ゲートウェイ）のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、を選択します。
- 宛先のIPファクス（SIP）のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、を選択します。
- 宛先のIPファクス（ダイレクト）のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、を選択します。

グループの検索

アドレス帳一覧画面で検索アイコンを押すと、検索画面が表示されます。検索項目を入力してグループを検索します。

グループメンバの確認

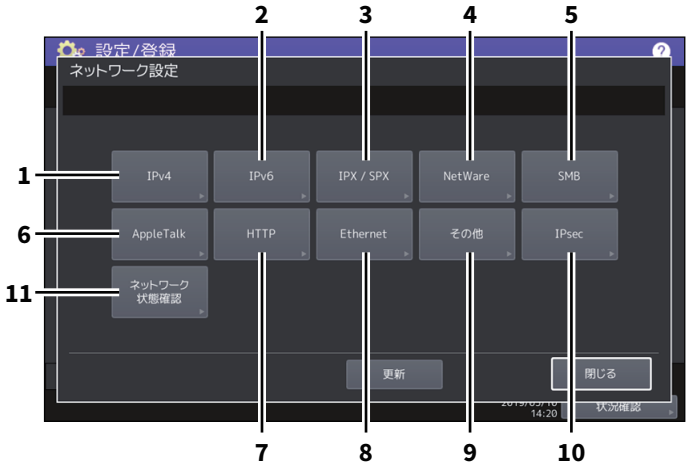
アドレス帳一覧画面でグループの［内容表示］を押すと、グループメンバを確認できます。

□ ネットワーク設定（管理者設定）

管理者設定メニューに入り、ネットワーク設定メニューでネットワークの各種設定を行います。
IPファクス機能以外の項目については、**設定管理ガイド**を参照してください。

補 足

ネットワーク設定メニューを表示する手順は、**設定管理ガイド**を参照してください。



	項目名	機能説明
1	IPv4	機能説明については、**設定管理ガイド**を参照してください。
2	IPv6	
3	IPX/SPX	
4	NetWare	
5	SMB	
6	AppleTalk	
7	HTTP	
8	Ethernet	
9	その他	
10	IPsec	
11	ネットワーク状態確認	P.53 「ネットワーク状態を確認する」

注 意

- ネットワーク設定では、設定変更後に［更新］を押し、ネットワークの初期化を行います。［更新］を押すと、数秒後にタッチパネルに「ネットワーク準備中」と表示されますが、そのメッセージが表示されるまでの時間は設定によって異なります。設定が完了すると、「ネットワーク準備中」の表示が消えます。
- 「ネットワーク準備中」と表示されている間は、［ネットワーク設定］、［セキュリティ設定］、［無線LAN］、［802.1X設定］、［初期化］、［日時］および［クローニング］の各ボタンを押せません。これらのボタン操作は、「ネットワーク準備中」の表示が消えてから行ってください。

ネットワーク状態を確認する

ネットワーク状態確認では、Ping機能とTraceroute機能を使用できます。

項目名	機能説明
サーバー	目的のサーバーを選択します。
PING	このボタンを押すと、本機からネットワーク上の各種サーバーへの接続状態を確認することができます。
TRACEROUTE	このボタンを押すと、目的のサーバーまでのネットワーク経路を表示できます。

補 足

目的のサーバーを選択する方法は、2つあります。

設定されている各種サーバーを表示一覧から選択する場合：
表示できるサーバーおよび対応プロトコルは、以下のとおりです。

- プライマリDNSサーバー（IPv4/IPv6）
- セカンダリDNSサーバー（IPv4/IPv6）
- プライマリWINSサーバー（IPv4）
- セカンダリWINSサーバー（IPv4）
- SMTPサーバー（IPv4/IPv6）
- POP3サーバー（IPv4/IPv6）
- プライマリSNTPサーバー（IPv4/IPv6）
- セカンダリSNTPサーバー（IPv4/IPv6）
- LDAPサーバー 1
- LDAPサーバー 2
- LDAPサーバー 3
- LDAPサーバー 4
- LDAPサーバー 5
- リモートサーバー 1
- リモートサーバー 2
- プライマリレジストラSIPサーバー
- セカンダリレジストラSIPサーバー
- プライマリプロキシSIPサーバー
- セカンダリプロキシSIPサーバー

手動で目的のサーバーを指定する場合：
サーバー名または、IPv4アドレス、IPv6アドレスを手入力します。

注 意

- TopAccessの「共有フォルダに保管」でリモートサーバー 1／リモートサーバー 2のネットワークパスにWINS名を入力した場合は、表示一覧からそれらのサーバーを選択してネットワーク状態確認操作を実行することはできません。この場合には、リモートサーバー 1／リモートサーバー 2のIPアドレスを手動で入力し、実行してください。
- サーバーに到達可能なときは、実行結果のサーバーはIPアドレスで表示されますが、何らかの理由でサーバーに到達できない場合は、実行結果はホスト名で表示されます。

□ ファクス設定（管理者設定）

IPファクスの自局名の登録と機密受信したIPファクスの印刷パスワードを設定します。
IPファクス機能以外の項目については、**設定管理ガイド**を参照してください。

補 足

ファクス設定画面を表示する手順は、**設定管理ガイド**の「管理者設定メニューに入る」を参照してください。

自局名を登録する

本機の自局名を登録します。自局名を登録しておくと、送信原稿には発信元情報を付加して送信し、受信原稿には受信元情報を付加して印刷することができます。

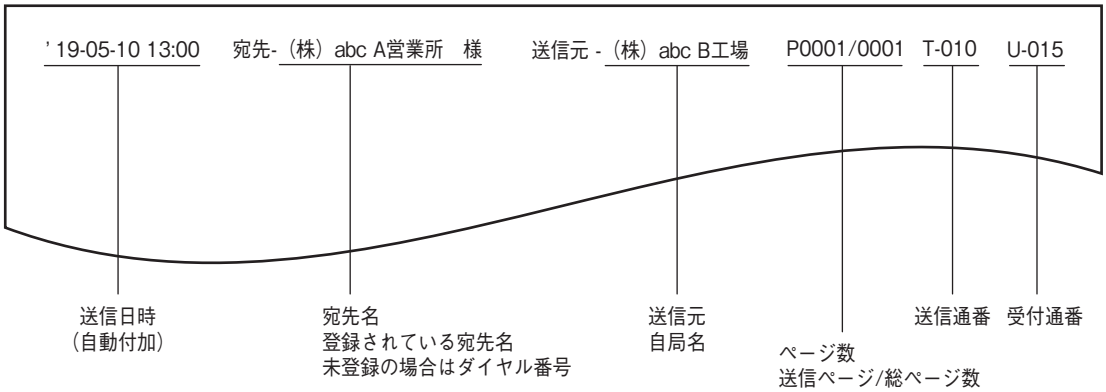
補 足

- ［自局名称］は、全角／半角ともに20文字まで入力することができます。登録した自局名称の表示または印刷には、以下の文字数制限があります。
  - 発信元情報の送信元自局名の部分に印刷される文字数は、全角10文字／半角20文字です。

  上記以外は、登録した自局名称のとおり表示または印刷されます。
- 海外指定を設定する場合は、［+］を押してください。また、番号入力時にポーズ“ー”を用いる場合は、［ポーズ］を押してください。

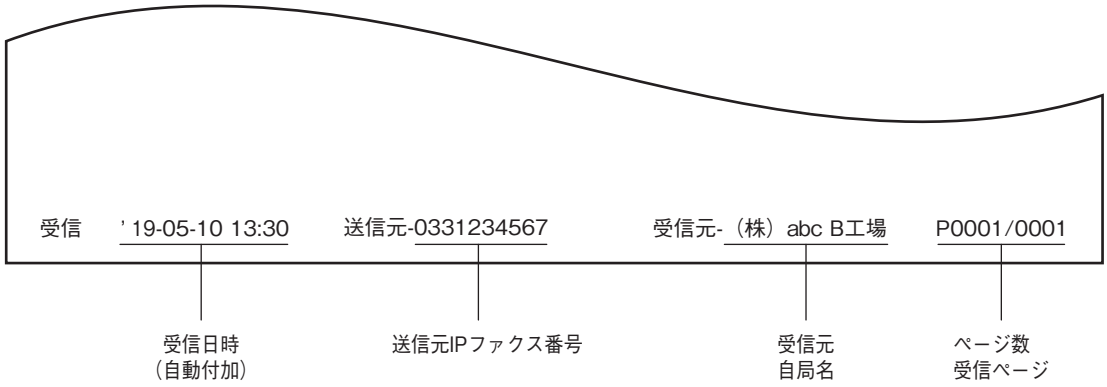
発信元情報の記録例

発信元情報は、原稿の上端から5 mmの位置に上書き印刷されるように送信します。



受信元情報の記録例

受信元情報は、原稿の下端から5 mmの位置に上書き印刷します。



機密受信の印刷パスワードを設定する

機密受信とは、受信したIPファクスを出力せずに、機体内に保管する機能です。
機密受信の詳細については、**設定管理ガイド**を参照してください。

機密受信したIPファクスを印刷するためのパスワードを設定します。

1 **［IPファクス］を選択します。**

2 **［新しいパスワード］と［新しいパスワードの確認］にパスワードを入力して、［OK］を押します。**

- パスワードは、20文字まで入力できます。
  入力できる文字は英数字および以下のシンボル文字です。
  ! # $ ( ) * + , - . / : ; = ? @ \ ^ _ ` { | } ~

3 **［OK］を押します。**

N/W-FaxドライバからIPファクス機能を使用する

IPファクスで送受信するために必要な設定と基本的な送信手順を説明します。
📖 P.56 「IPファクスを送信する」
📖 P.60 「IPファクスの宛先を指定する」
📖 P.69 「宛先の削除」
📖 P.70 「[送信] タブの設定」
📖 P.72 「[デバイス設定] タブの設定」

IPファクスの送信方法には以下の3つがあります。

- **IPファクス ダイレクト**：IPファクスに対応した複合機に直接、IPファクスを送信します。
- **IPファクス ゲートウェイ**: T.38対応ゲートウェイ経由で、IPファクスをG3ファクス機に送信します。
- **IPファクス SIP**：IPファクスに対応した複合機に、IPファクスをSIPサーバー経由で送信します。

注 意

- IPファクス機能を使用するには、IPファクスオプションが必要です。詳細については、販売店またはサービスエンジニアにお問い合わせください。
- IPファクスで送信するために［デバイス設定］タブの［IPファクス機能］を有効に設定してください。
  📖 P.72 「[デバイス設定] タブの設定」
- IPファクス ダイレクト送信は、AddressBook Viewerのアドレス帳から宛先を選択した場合のみ送信することができます。
  📖 P.62 「アドレス帳からの宛先選択」

■ IPファクスを送信する

IPファクスの基本的な送信手順を説明します。
📖 P.58 「送信時にパスワードが求められる場合」
📖 P.59 「LDAP認証を有効にしている場合」

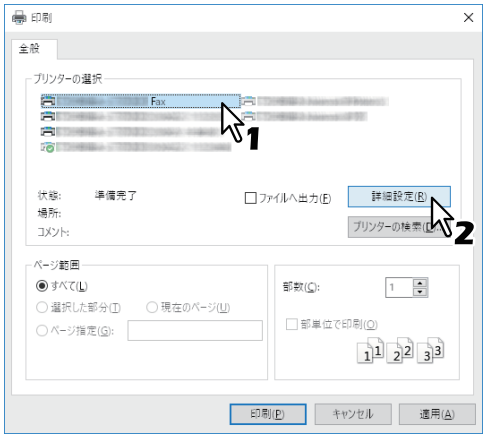
1 アプリケーションソフトウェアを起動して送信する文書を準備します。

2 アプリケーションソフトウェアにて、［ファイル］メニュー >［印刷］を選択して印刷用ダイアログボックスを表示します。

補 足

アプリケーションソフトウェアにより、印刷用ダイアログボックスを表示する操作が上記とは異なる場合があります。

3 ［TOSHIBA e-STUDIO Fax］を選択した後、［詳細設定］をクリックします。

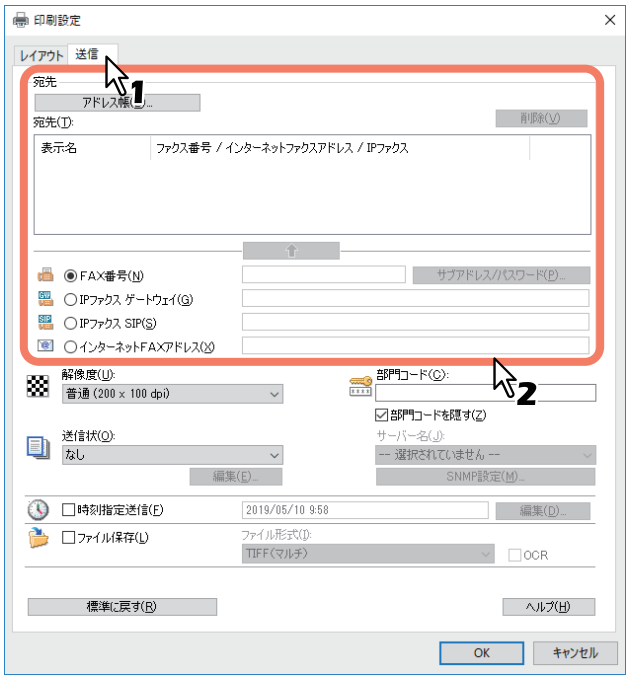


N/W-Faxドライバプロパティのダイアログボックスが表示されます。

補 足

アプリケーションソフトウェアにより、ドライバプロパティを開くコマンドの名称が［詳細設定］とは異なる場合があります。

4 ［送信］タブを選択し、IPファクスの宛先を指定します。

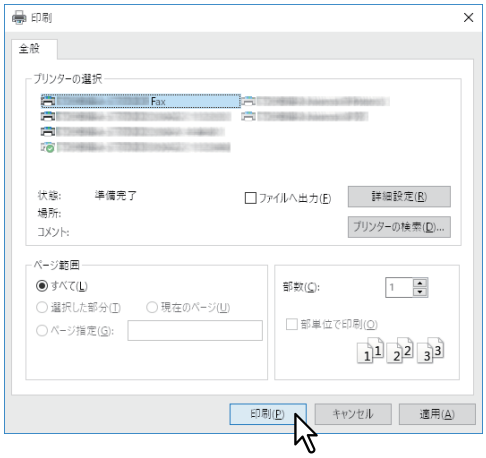


- 宛先の指定方法には、キーボードからの宛先入力とアドレス帳からの宛先選択があります。
  P.60 「IPファクスの宛先を指定する」
- ［送信］タブでは、宛先を指定するほかに、解像度や送信状の設定などの各種項目を設定することができます。
  P.70 「［送信］タブの設定」

5 宛先を確認し、［OK］をクリックします。

送信設定が確定して、N/W-Faxドライバプロパティのダイアログボックスが閉じます。

6 印刷用ダイアログボックスにて、[印刷] をクリックします。



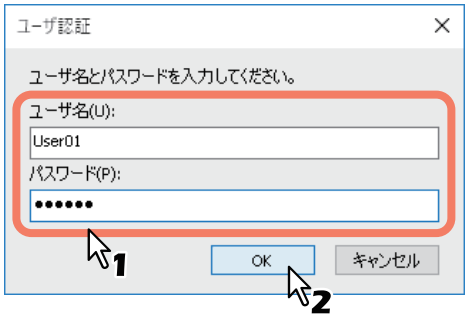
IPファクスが送信されます。

補 足

- アプリケーションソフトウェアにより、文書を印刷（ファクスを送信）するコマンドの名称が［印刷］とは異なる場合があります。
- 送信待機中のファクスジョブは、TopAccessのジョブ管理機能により状況確認や削除することができます。
  また、送信完了したファクスジョブは、TopAccessのログ表示機能により送信結果を確認することができます。操作の詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

□ 送信時にパスワードが求められる場合

［印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する］オプションが有効に設定されている場合、ファクスジョブを送信する際にダイアログボックスが表示されユーザ名とパスワードの入力を要求されます。
この場合は、ユーザ名とパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。

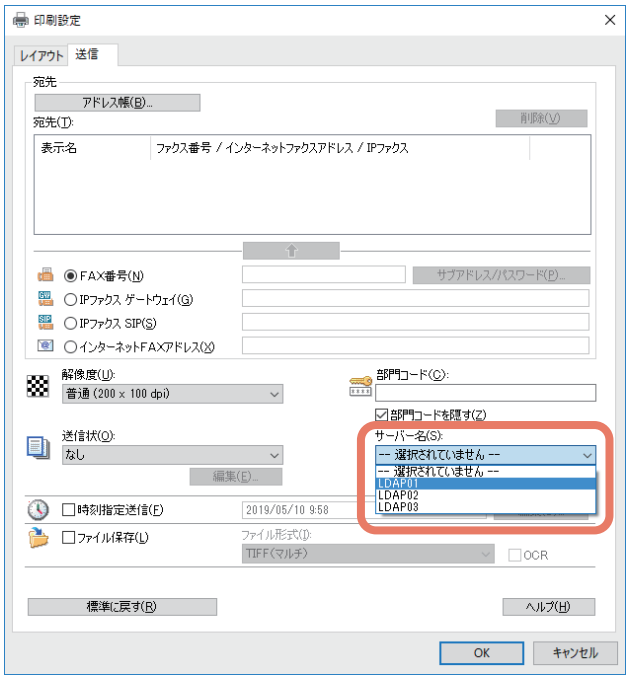


補 足

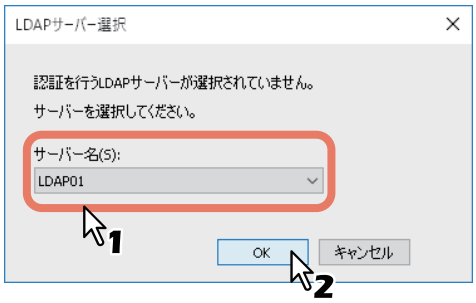
- ［ユーザ名］ボックスには半角英数文字で128文字まで入力できます。［パスワード］ボックスには半角英数文字で64文字まで入力できます。
- 入力したユーザ名やパスワードは保存されません。送信を実行するごとに入力が必要です。
- このオプションの設定を変更したい場合は、［デバイス設定］タブで行います。
  P.72 「［デバイス設定］タブの設定」

□ LDAP認証を有効にしている場合

LDAP認証が有効に設定されている場合、送信を行う前に［送信］タブの［サーバー名］ボックスで認証を行うLDAPサーバーを指定してください。



LDAPサーバーを指定せずに送信を行うと、［LDAPサーバー選択］ダイアログボックスが表示され、サーバーの指定が要求されます。
この場合は、［サーバー名］ボックスでLDAPサーバーを指定し、［OK］をクリックすると送信が実行されます。



補 足

LDAP認証の設定を変更したい場合は、［デバイス設定］タブで行います。
設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

■ IPファクスの宛先を指定する

ファクスの宛先は、最大400件まで同時に指定することができます。
以下の方法により、宛先を指定してください。
🕮 P.60 「キーボードからの宛先入力」
🕮 P.62 「アドレス帳からの宛先選択」
🕮 P.64 「アドレス帳からの宛先選択（検索機能）」

注 意

複数の宛先を同時に指定して送信する場合、N/W-Faxドライバで送信状を設定したり、受信機側でヘッダページの印刷などが設定されていたりすると、それらの設定によって受信機側の文書に宛先情報がすべて印刷されてしまうことがあります。情報の流出に注意が必要な場合は、複数の宛先へ同時に送信することは避けてください。

補 足

アドレス帳を利用するためには、あらかじめAddressBook Viewerのアドレス帳へ宛先を登録しておく必要があります。

□ キーボードからの宛先入力

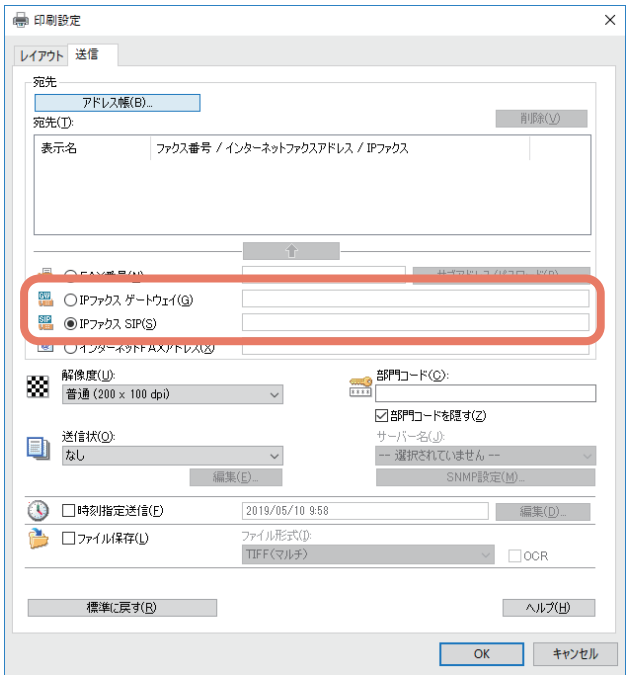
キーボードを使用して宛先を手動で入力します。

注 意

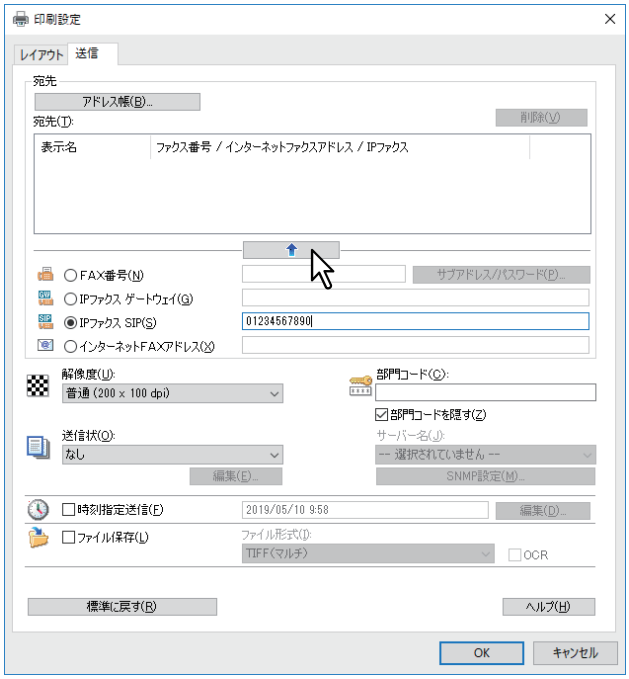
IPファクスダイレクト送信は、キーボードで宛先を入力することができません。アドレス帳から宛先のIPファクス番号を選択してください。

1 宛先の種類を選択し、宛先を入力します。

- IPファクスをT.38対応ゲートウェイ経由でG3ファクス機に送信する場合は、［IPファクス ゲートウェイ］をクリックしてから右側のボックスへファクス番号を入力します。
- IPファクスをSIPサーバー経由で複合機に送信する場合は、［IPファクス SIP］をクリックしてから右側のボックスへSIPユーザ名を入力します。



2 [↑] をクリックします。



「宛先」に入力した宛先が一覧表示されます。
複数の宛先に送信する場合は、手順1～2の操作を繰り返し、必要な宛先を一覧に追加します。

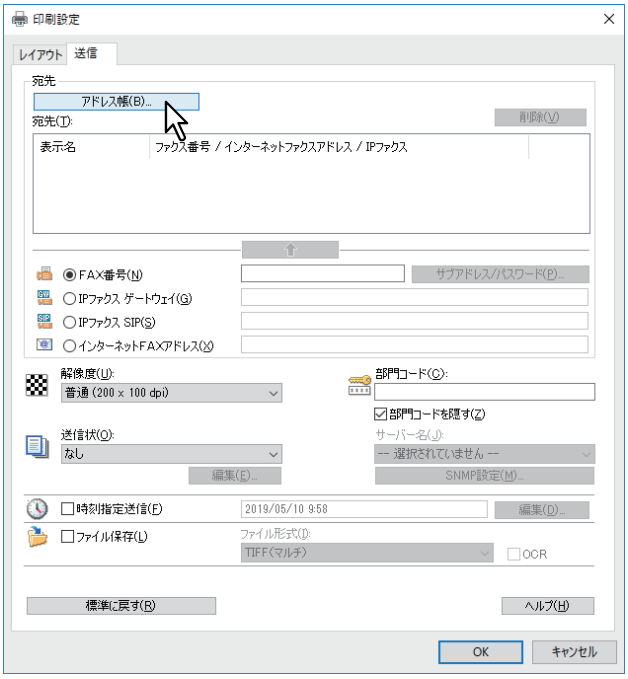
補 足

ファクスの送信処理が完了すると、その送信の宛先は「宛先」のリストから自動的に消去されます。

□ アドレス帳からの宛先選択

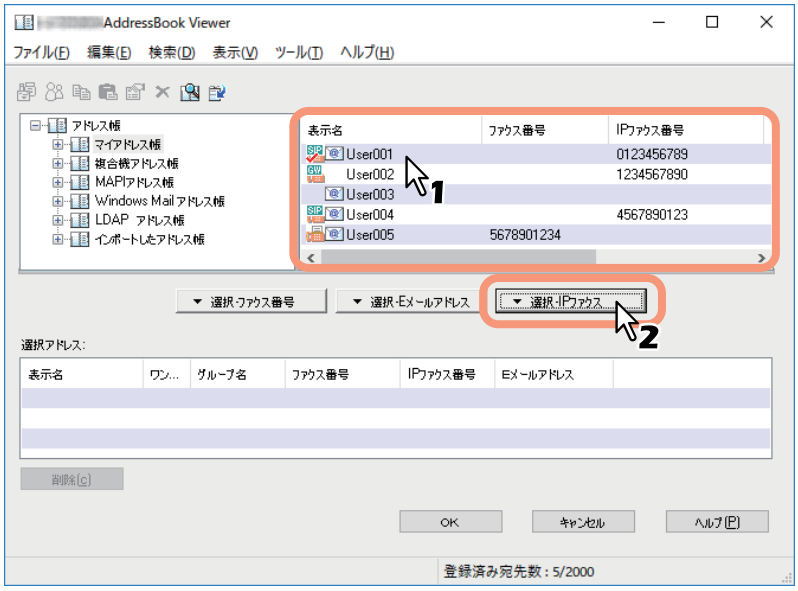
AddressBook Viewerのアドレス帳から宛先を選択します。
IPファクス ダイレクト送信を行う場合に選択してください。

1 ［アドレス帳］をクリックします。



AddressBook Viewerが起動します。

2 アドレス帳から［選択-IPファクス］を選択し、宛先リストに追加します。



複数の宛先に送信する場合は、上記の操作を繰り返し、必要な宛先を一覧に追加します。
宛先の選択については、以下の操作を行うこともできます。

- **ドラッグアンドドロップによる選択**
  アドレス帳から「選択アドレス」へ宛先をドラッグアンドドロップし、［選択］から［IPファクス番号］を選択します。
- **ダブルクリックによる選択**
  アドレス帳で宛先をダブルクリックします。
  設定を変更する場合は、［表示］メニュー＞［初期設定］＞［タイプ選択］を選択し、［IPファクス番号］/［IPファクス番号とEメールアドレス］のいずれかを選択してください。
- **ショートカットメニューによる選択**
  アドレス帳で宛先を右クリックしてショートカットメニューの［選択］を選択し、［IPファクス番号］を選択します。
- **宛先の削除**
  「選択アドレス」から削除する宛先を選択し、［削除］をクリックします。

3 宛先を確認し、［OK］をクリックします。

AddressBook Viewerが閉じ、「宛先」に選択した宛先が一覧表示されます。

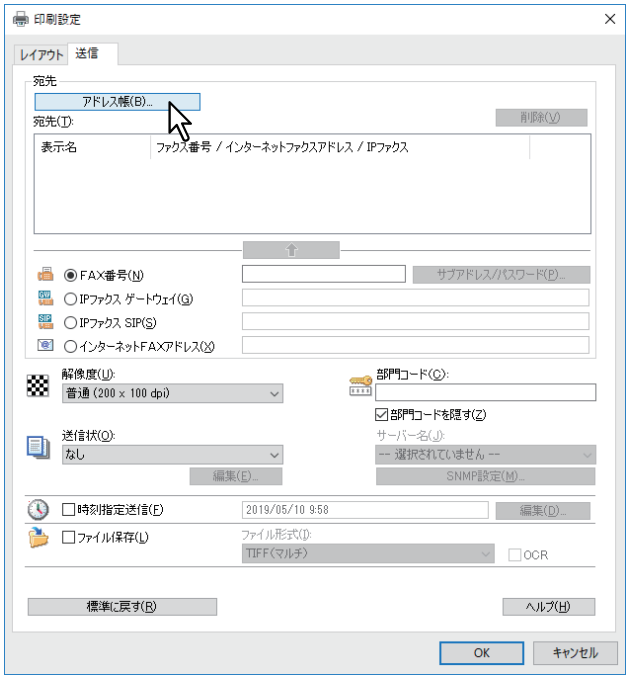
補 足

ファクスの送信処理が完了すると、その送信の宛先は「宛先」のリストから自動的に消去されます。

□ アドレス帳からの宛先選択（検索機能）

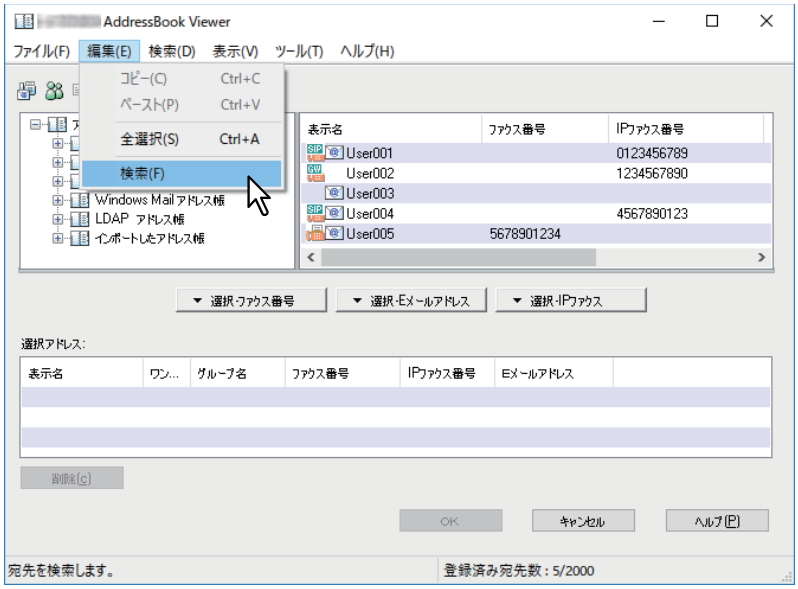
AddressBook Viewerのアドレス帳から宛先を検索して選択します。

1 ［アドレス帳］をクリックします。



AddressBook Viewerが起動します。

2 ［編集］メニュー > ［検索］を選択します。

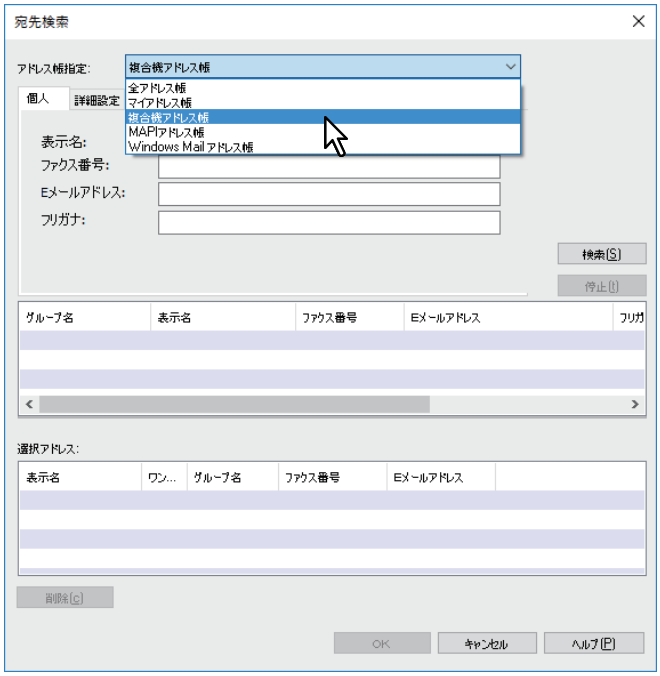


［宛先検索］ダイアログボックスが表示されます。

補 足

［検索］メニューを選択しても、［宛先検索］ダイアログボックスを表示できます。

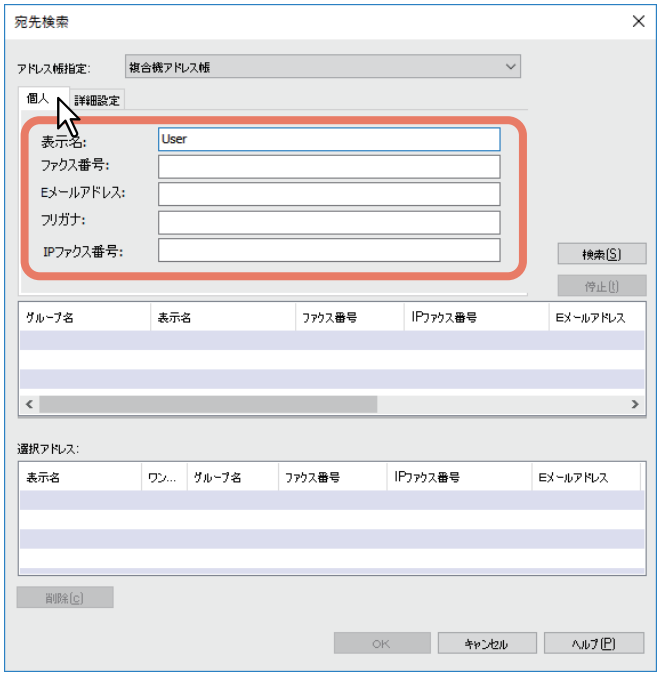
3 ［アドレス帳指定］ボックスから検索対象とするアドレス帳を選択します。



補 足

デフォルト表示として設定されたアドレス帳が［アドレス帳指定］ボックスに表示されます。
アドレス帳のデフォルト表示の設定を変更する場合は、［表示］メニュー > ［初期設定］ > ［アドレス帳指定］を選択し、いずれかのアドレス帳を選択してください。

4 ［個人］タブを選択し、検索文字列を入力します。



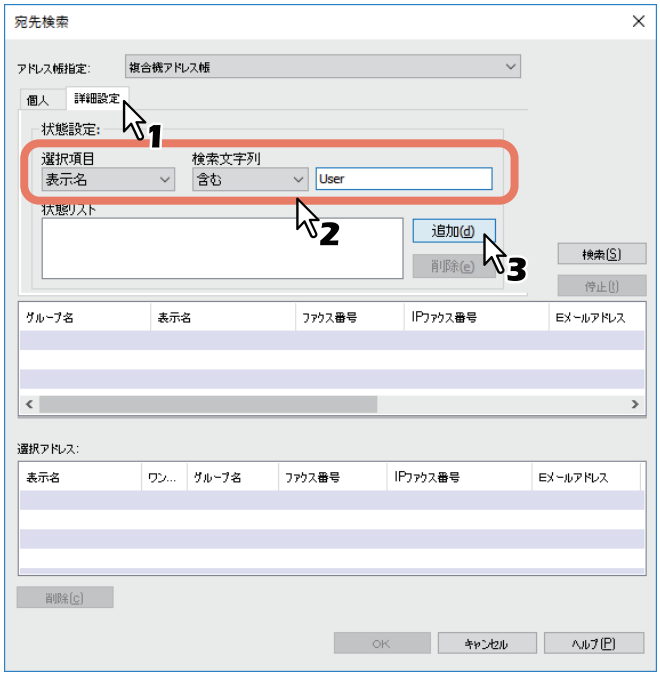
- **表示名**：宛先表示名の検索文字列を入力します。
- **ファクス番号**：ファクス番号を入力します。
- **Eメールアドレス** ：Eメールアドレスの検索文字列を入力します。
- **IPファクス番号** ：IPファクス番号の検索文字列を入力します。
- **フリガナ**：フリガナの検索文字列（全角カタカナ）を入力します。ただし、フリガナが設定されていないアドレス帳に対しては無効です。

上記の条件で検索を実行する場合は、手順6へ進んでください。さらに詳細な検索条件を設定する場合は、手順5へ進んで［詳細設定］タブを設定してください。ただし、［個人］タブと［詳細設定］タブの両方に検索条件を入力しても、両タブの検索条件で同時に検索することはできません。

補 足

［個人］タブではすべてのボックスへ検索文字列を入力する必要はなく、その検索文字列も完全一致である必要はありません。1つ以上のボックスへ1文字以上の文字列を入力すれば、その条件を含む宛先が検索されます。

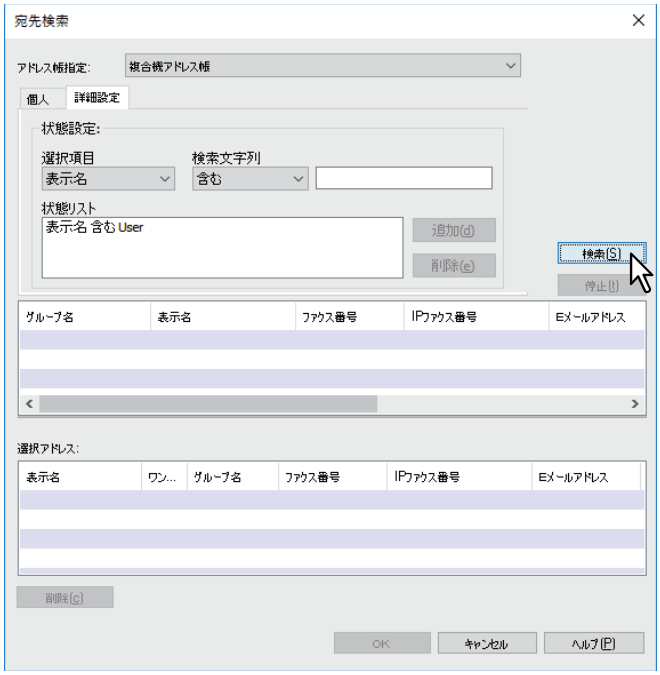
5 [詳細設定] タブを選択し、検索条件を設定した後、[追加] をクリックします。



- **選択項目**：検索対象とする項目を選択します。
- **検索文字列**：左側のボックスで適用条件を選択し、右側のボックスへ検索文字列を入力します。

「状態リスト」に検索条件が一覧表示されます。
複数の検索条件を設定する場合は、この操作を必要な分繰り返してください。
検索条件を削除する場合は、検索条件を選択してから［削除］をクリックしてください。

6 [検索] をクリックします。

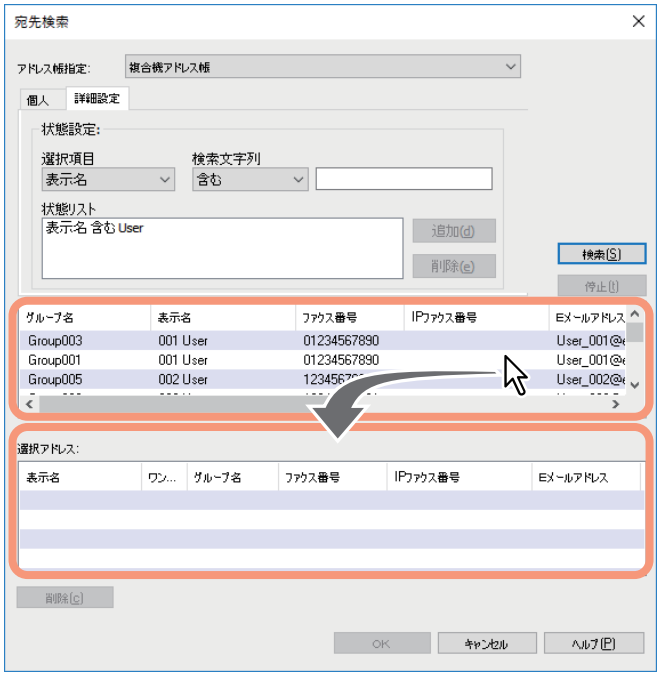


検索が開始され、完了すると検索結果が一覧表示されます。
検索を停止する場合は、［停止］をクリックしてください。

注 意

［個人］タブと［詳細設定］タブの両方に検索条件を入力していても、有効となるのは現在表示しているタブの検索条件です。両タブの検索条件で同時に検索を行うことはできません。

7 検索結果一覧から「選択アドレス」へ宛先をドラッグアンドドロップします。



8 「選択」から［IPファクス番号］を選択します。

「選択アドレス」に、選択した宛先が一覧表示されます。
複数の宛先に送信する場合は、手順1～8の操作を繰り返し、必要な宛先を一覧に追加します。
宛先の選択については、以下の操作を行うこともできます。

- **ダブルクリックによる選択**
  検索結果一覧にて宛先をダブルクリックします。
  設定を変更する場合は、［表示］メニュー >［初期設定］>［タイプ選択］を選択し、［IPファクス番号］/［IPファクス番号とEメールアドレス］のいずれかを選択してください。
- **ショートカットメニューによる選択**
  検索結果一覧にて宛先を右クリックしてショートカットメニューの［選択］を選択し、［IPファクス番号］を選択します。
- **宛先の削除**
  「選択アドレス」にて削除する宛先を選択し、［削除］をクリックします。

9 宛先を確認し、［OK］をクリックします。

AddressBook Viewerが閉じ、「宛先」に選択した宛先が一覧表示されます。

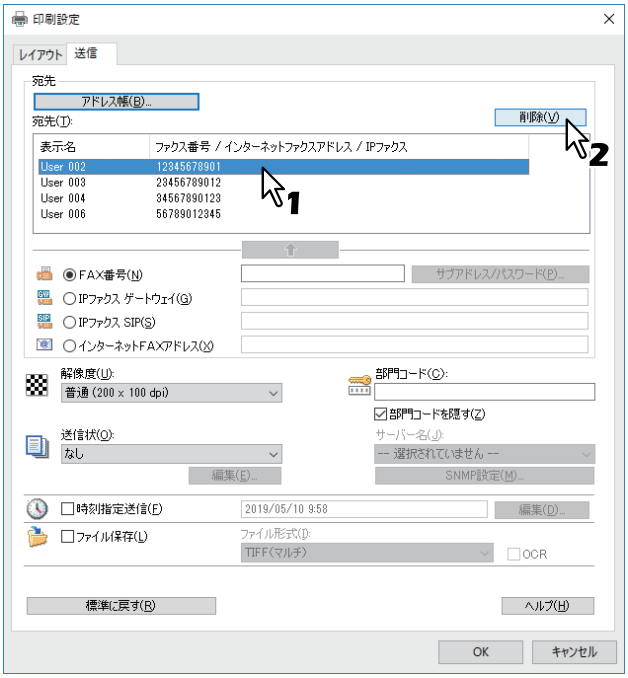
補 足

ファクスの送信処理が完了すると、その送信の宛先は「宛先」のリストから自動的に消去されます。

■ 宛先の削除

N/W-Faxドライバプロパティの「宛先」から宛先を削除します。

1 宛先を選択した後、［削除］をクリックします。



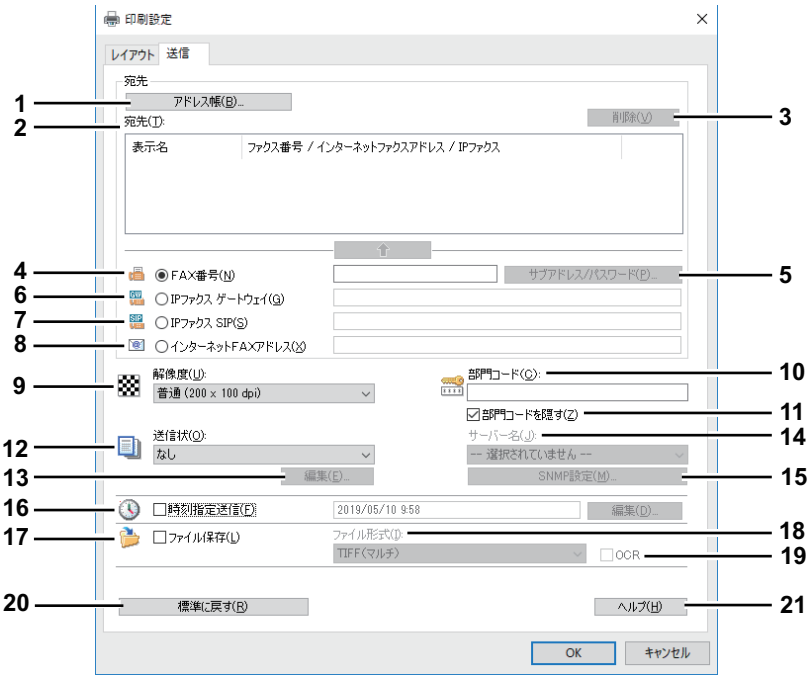
選択した宛先が削除されます。

■［送信］タブの設定

［送信］タブでは、宛先を選択し、IPファクスをどのように送信するかを設定します。
アプリケーションの［プリント（印刷）］ダイアログボックスからN/W-Faxドライバの［プロパティ］ダイアログボックスを表示して設定した機能は、現在のネットワークファクスジョブのみに反映されます。この方法で設定した内容は、アプリケーションを閉じると無効になります。

1 アプリケーションのファイルメニューから ［印刷］を選択します。

2 ［TOSHIBA e-STUDIO Fax］を選択し、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。



1. **［アドレス帳］**
   AddressBook Viewerを起動し、アドレス帳から宛先を選択します。
   P.62 「アドレス帳からの宛先選択」
2. **宛先**
   選択した宛先を一覧表示します。
   設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。
   宛先の表示名をダブルクリックすると、表示名を変更することができます。
3. **［削除］**
   「宛先」の一覧で選択した宛先を削除します。
   P.69 「宛先の削除」
4. **FAX番号**
   宛先のファクス番号を直接入力します。
   P.60 「キーボードからの宛先入力」
5. **［サブアドレス/パスワード］**
   入力したファクス番号にサブアドレスやパスワードを付加する場合、クリックします。［サブアドレス/パスワード］ダイアログボックスが表示され、サブアドレスやパスワードを入力できます。
   P.60 「キーボードからの宛先入力」
6. **IPファクス ゲートウェイ**
   IPファクスをT.38対応ゲートウェイ経由でG3ファクス機に送信する場合は、宛先のファクス番号を直接入力します。
   P.60 「キーボードからの宛先入力」

7. IPファクス SIP
IPファクスをSIPサーバー経由で複合機に送信する場合は、宛先のSIPユーザ名を直接入力します。
P.60「キーボードからの宛先入力」

8. インターネットFAXアドレス
宛先のインターネットファクス番号を直接入力します。
P.60「キーボードからの宛先入力」

9. 解像度
ファクスの解像度を選択します。
- **普通（200 x 100dpi）**：普通モード（200×100dpi）で送信します。
- **精細（200 x 200dpi）**：精細モード（200×200dpi）で送信します。
- **高精細1（200 x 400dpi）**：高精細1モード（200×400dpi）で送信します。
- **高精細2（400 x 400dpi）**：高精細2モード（400×400dpi）で送信します。

10. 部門コード
必要に応じて1～63文字の部門コードを入力します。複合機で部門管理が有効に設定されている場合は、IPファクスを送信するには部門コードを入力する必要があります。
- 複合機で部門管理が有効に設定されており、TopAccessの［部門コードなし印刷ジョブ］が［不正ジョブリストに入れる］に設定されている場合、部門コードを入力せずにジョブを送信すると、ジョブは部門コードなしジョブリストに保存されます。部門コードなしジョブリストに保存されたジョブは、タッチパネルの［状況確認］から実行または削除することができます。
- 複合機で部門管理が有効に設定されており、TopAccessの［部門コードなし印刷ジョブ］が「印刷」に設定されている場合、部門コードを入力しなくてもジョブを送信することができます。
- 複合機で部門管理が有効に設定されており、TopAccessの［部門コードなし印刷ジョブ］が「削除」に設定されている場合、部門コードを入力せずにジョブを送信すると、そのジョブは自動的に削除されます。

11. 部門コードを隠す
部門コードを伏せ字で表示する場合に、チェックボックスをオンにします。

12. 送信状
文書の最初のページに送信状を添付する場合、送信状の種類を選択します。送信状は［標準カバーページ］、［ビジネスカバーページ］、［プロフェッショナルカバーページ］、［マイ送信状］の中から選択します。
設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

13. ［編集］
［送信状］で選択した送信状の内容を編集する場合にクリックします。
［送信状設定］ダイアログボックスが表示され、件名やメッセージなどの情報を入力することができます。フォントの種類や大きさなどを変更できます。
設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

14. サーバー名
必要に応じて［サーバー名］ボックスで指定したいLDAPサーバーを選択します。

補 足

LDAPサーバーに関する設定は、［デバイス設定］タブで行います。

P.72「［デバイス設定］タブの設定」

15. ［SNMP設定］
SNMP設定の確認または変更を行う場合にクリックします。
設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

16. 時刻指定送信
文書を送信する日時を指定したい場合、送信日時を設定します。送信日時は、［編集］をクリックすると表示される［予約時間］ダイアログボックスで設定します。複合機に送信したジョブは、指定した送信日時が来るまでファクスキューに保存されます。
設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

17. ファイル保存
文書をファクス、インターネットファクスまたはIPファクスとして送信するほかに、文書を複合機の共有フォルダ（FILE_SHAREフォルダ）へ最大10GBまで保存することができます。共有フォルダに保存された文書は、Windowsのエクスプローラから複合機の「FILE_SHARE」フォルダを開いて参照することができます。
設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

補 足

送信状を設定している場合には、送信状と送信文書が複合機の共有フォルダ（FILE_SHAREフォルダ）に保存されます。

18. ファイル形式
文書の保存形式を選択します。このオプションは、［ファイル保存］チェックボックスがオンにされているときにのみ有効です。

19. OCR
OCR機能を使用する場合にチェックボックスをオンにします。このオプションは、［ファイル保存］チェックボックスがオンにされているときにのみ有効です。OCR機能を使用するにはOCRオプションが必要です。

20. ［標準に戻す］
設定をリセットして工場出荷時の状態に戻します。

21. ［ヘルプ］
N/W-Faxドライバのヘルプを表示します。

■［デバイス設定］タブの設定

［デバイス設定］タブでは、N/W-Faxドライバの情報更新設定の変更や、ソフトウェア情報の表示をします。プリンタフォルダのプリンタアイコンからN/W-Faxドライバの［プロパティ］ダイアログボックスを表示して設定した機能は、N/W-Faxドライバの初期設定として保存されます。

注 意

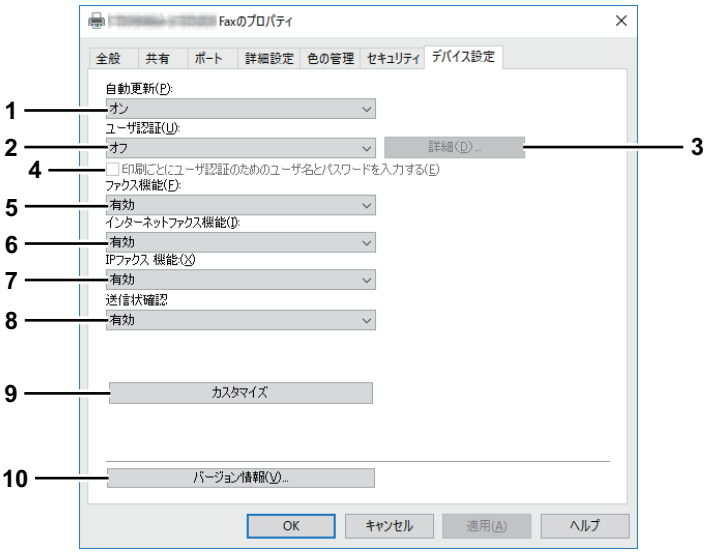
お使いの複合機の設定については、管理者にお問い合わせください。

1 ［スタート］を右クリックし、［コントロールパネル］> ［デバイスとプリンターの表示］を選択します。

- Windows 7をお使いの場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］>［ハードウェアとサウンド］>［プリンタ］を選択します。
- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、［コントロールパネル］> ［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［TOSHIBA e-STUDIO Fax］を右クリックし、ショートカットメニューから［印刷設定］または［プリンターのプロパティ］を選択します。

- Windows Server 2008をお使いの場合は、［TOSHIBA e-STUDIO Fax］>［ファイル］メニュー >［印刷設定］または［プロパティ］を選択します。
- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。



1. 自動更新

N/W-Faxドライバの［デバイス設定］タブを開くたびに、お使いの複合機と自動で通信を行い、デバイス設定タブの各項目の設定情報を取得するかどうかを選択します。

- **オン**：設定情報を自動的に取得します。
- **オフ**：設定情報を自動的に取得しません。デバイス設定タブの各項目を手動で設定してください。

注 意

コンピュータと複合機をUSB接続している場合、使用できません。

2. ユーザ認証

ユーザ認証機能の設定状況を選択します。お使いの複合機の設定に合わせてください。

- **オフ**：ユーザ認証を行いません。
- **内部認証**：内部認証を行います。
- **Windowsドメイン認証**：Windowsドメイン認証を行います。
- **LDAP認証**：LDAP認証を行います。

補 足

ユーザ認証が有効で、かつ複合機側でプロジェクトコード機能が有効に設定されている場合は、IPファクスを送信する際にプロジェクトコードを入力する必要があります。

3. 詳細

［LDAPサーバー設定］ダイアログボックスが表示されます。このオプションは、［ユーザ認証］ボックスで［LDAP認証］を選択した場合に有効です。

設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

4. 印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する

このチェックボックスをオンにすると、IPファクスを送信する際にはユーザ名とパスワードの入力が必要となります。このオプションは、［ユーザ認証］ボックスでいずれかのユーザ認証機能を選択した場合に有効です。

補 足

- このオプションを設定するには、［自動更新］ボックスで［オフ］を選択してください。
- このオプションは、すべてのユーザ認証機能（内部認証、Windowsドメイン認証、LDAP認証）と組み合わせて使用できます。

5. ファクス機能
ファクス機能の設定状況を選択します。お使いの複合機の設定に合わせてください。
- **有効**：ファクス機能を使用します。
- **無効**：ファクス機能を使用しません。

6. インターネットファクス機能
インターネットファクス機能の設定状況を選択します。お使いの複合機の設定に合わせてください。
- **有効**：インターネットファクス機能を使用します。
- **無効**：インターネットファクス機能を使用しません。

7. IPファクス機能
IPファクス機能の設定状況を選択します。お使いの複合機の設定に合わせてください。
- **有効**：IPファクス機能を使用します。
- **無効**：IPファクス機能を使用しません。

8. 送信状確認
ジョブを送信する際に、カバーシートが選択されている旨の注意をうながすメッセージを表示させるかを設定します。
- **有効**：メッセージを表示します。
- **無効**：メッセージを表示しません。

9. カスタマイズ
「カスタマイズのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
設定の詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

10.バージョン情報
N/W-Faxドライバのソフトウェア情報を表示します。

P.75 「ログ」
P.78 「テンプレート」
P.80 「Fコード／ファクス受信転送（振分け）」
P.82 「ロール管理」
P.85 「レポート通知設定」
P.87 「IPファクス受信転送（管理者設定）」

■ ログ

TopAccessの［ログ］タブでは、ジョブの履歴を確認することができます。
P.75 「［ログ閲覧］項目説明一覧」

補 足

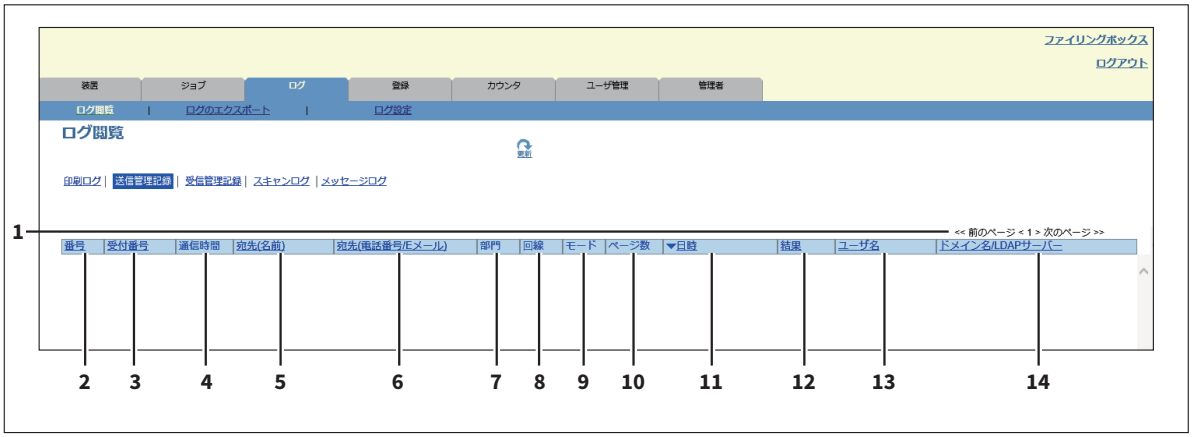
［ログのエクスポート］項目説明一覧<アクセスポリシーモード>、［ログ設定］項目説明一覧<アクセスポリシーモード>、［ログ］設定/操作方法の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

□［ログ閲覧］項目説明一覧

印刷ログ、スキャンログ、アプリケーションログ、メッセージログ<アクセスポリシーモード>の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

送信管理記録

送信管理記録ページには、以下の情報が送信ジャーナルごとに表示されます。



	項目名	機能説明
1	ページ選択	101件以上ある場合に、ページを選択します。
2	番号	ログの通番を表示します。
3	受付番号	通信の受付番号を表示します。
4	通信時間	送信に要した時間を表示します。1時間以上の場合は、「59:59」と表示します。
5	宛先（名前）	送信ジョブの宛先の名称を表示します。
6	宛先（電話番号/Eメール）	送信ジョブの宛先番号またはEメールアドレスを表示します。
7	部門	部門管理が有効な場合、部門番号を表示します。
8	回線	使用回線を表示します。
9	モード	送信モード*を表示します。
10	ページ数	送信ジョブの総ページ数を表示します。
11	日時	ファクス/インターネットファクス/IPファクスを送信した日時を表示します。

	項目名	機能説明
12	結果	送信結果を表示します。
13	ユーザ名	送信ジョブを所有していたユーザアカウント名を表示します。
14	ドメイン名/LDAPサーバー	送信ジョブを所有していたユーザアカウントのドメイン名またはLDAPサーバーを表示します。

＊送信モードは、2桁のアルファベットと3桁の数字、最大4桁の補足記号によって表示されます。
例：EC 603

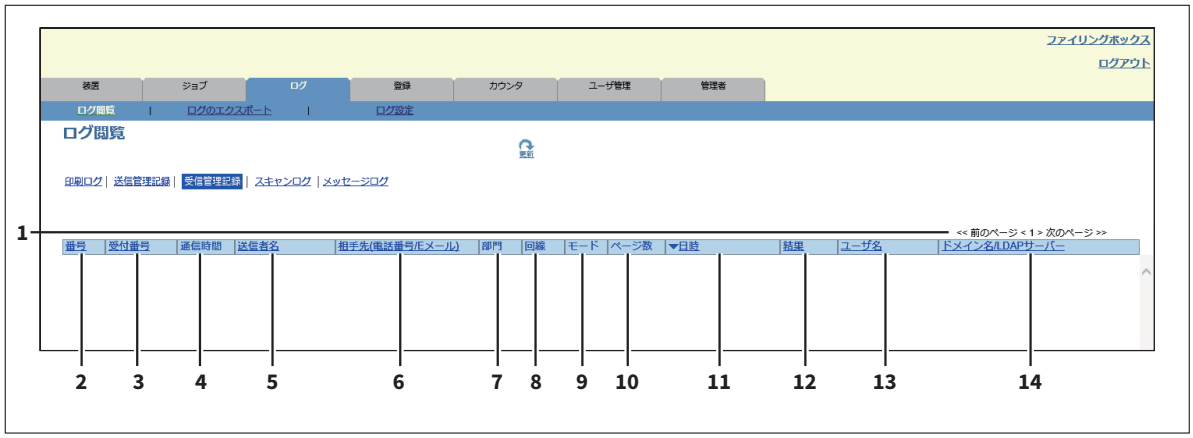
2桁アルファベット 通信モード	3桁目 伝送速度（bps）	2桁目 解像度（pels/mm）	1桁目 符号化方式	最大4桁 補足記号
EC：ファクス（ECM）通信 G3：ファクス（G3）通信 ML：メール通信 IE：IPファクス（ECM）通信 IG：IPファクス（G3）通信	0：2400 1：4800 2：7200 3：9600 4：12000 5：14400 6：V.34 7：T.38モード（IPファクス）	0：8x3.85 1：8x7.7 2：8x15.4 4：16x15.4 8：300dpi A：400dpi B：600dpi C：100dpi D：150dpi	0：MH 1：MR 2：MMR 3：JBIG	P：ポーリング通信 SB：Fコード通信 SR/R：Fコード中継同報通信 SF/F：Fコード転送通信 ML：インターネットファクス通信 I：ネットワークファクス通信 O：オフランプゲートウェイ通信

補 足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で送信ジャーナル一覧を並べ替えることができます。

受信管理記録

受信管理記録ページには、以下の情報が受信ジャーナルごとに表示されます。



	項目名	機能説明
1	ページ選択	101件以上ある場合に、ページを選択します。
2	番号	ログの通番を表示します。
3	受付番号	通信の受付番号を表示します。
4	通信時間	受信に要した時間を表示します。1時間以上の場合は、「59:59」と表示します。
5	送信者名	受信ジョブの送信者の名称を表示します。
6	相手先（電話番号/Eメール）	受信ジョブの送信者の電話番号またはEメールアドレスを表示します。
7	部門	部門管理が有効な場合、部門番号を表示します。
8	回線	使用回線を表示します。

	項目名	機能説明
9	モード	受信モード*を表示します。
10	ページ数	受信ジョブの総ページ数を表示します。
11	日時	受信を開始した日時を表示します。
12	結果	受信結果を表示します。
13	ユーザ名	受信ジョブを所有していたユーザアカウント名を表示します。
14	ドメイン名/LDAPサーバー	受信ジョブを所有していたユーザアカウントのドメイン名またはLDAPサーバーを表示します。

＊受信モードは、2桁のアルファベットと3桁の数字、最大4桁の補足記号によって表示されます。
例：EC 603

2桁アルファベット 通信モード	3桁目 伝送速度（bps）	2桁目 解像度（pels/mm）	1桁目 符号化方式	最大4桁 補足記号
EC：ファクス（ECM）通信 G3：ファクス（G3）通信 ML：メール通信 IE：IPファクス（ECM）通信 IG：IPファクス（G3）通信	0：2400 1：4800 2：7200 3：9600 4：12000 5：14400 6：V.34 7：T.38モード（IPファクス）	0：8x3.85 1：8x7.7 2：8x15.4 4：16x15.4 8：300dpi A：400dpi B：600dpi C：100dpi D：150dpi	0：MH 1：MR 2：MMR 3：JBIG	P：ポーリング通信 SB：Fコード通信 SR/R：Fコード中継同報通信 SF/F：Fコード転送通信 ML：インターネットファクス通信 I：ネットワークファクス通信 O：オンランプゲートウェイ通信

補 足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で受信ジャーナル一覧を並べ替えることができます。

■ テンプレート

TopAccessの［登録］タブの［テンプレート］メニューでは、テンプレートの登録ができます。
🕮 P.78 「宛先設定」

補 足

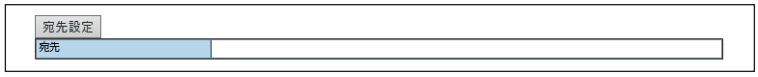
次の操作については、**TopAccessガイド**を参照してください。

- 「パネル設定」
- 「インターネットファクス設定」
- 「ファクス設定」
- 「Eメール設定」
- 「共有フォルダに保管設定」
- 「ボックス設定」
- 「USB保存設定」
- 「スキャン設定」
- 「拡張フィールド設定」
- 「拡張フィールド属性」
- 「パスワード設定」

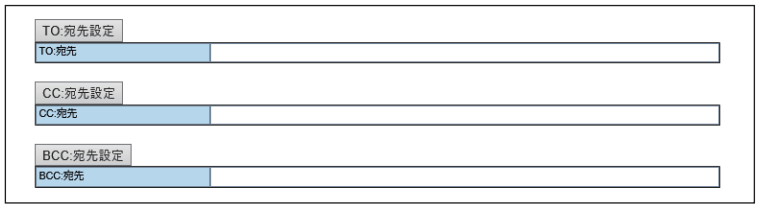
□ 宛先設定

宛先リストのページでは、IPファクスを送信する宛先を指定します。
Eメール送信エージェントの宛先を指定するときは、Eメールアドレスのみを使用することができます。
ファクス／インターネットファクスエージェントの宛先を指定するときは、Eメールアドレス、ファクス番号またはIPファクス番号を使用することができます。

ファクス／インターネットファクスエージェントの場合



Eメール送信エージェントの場合



補 足

宛先の指定は、Eメールアドレス、ファクス番号またはIPファクス番号を手動で入力したり、アドレス帳から個人やグループを選択します。また、LDAPサービスを使って検索することもできます。

次の操作については、**TopAccessガイド**を参照してください。

- 「宛先をアドレス帳から選択する」
- 「グループをアドレス帳から選択する」
- 「LDAPサーバーを使って宛先を検索する」
- 「宛先リストから宛先を削除する」

宛先を手動で入力する

宛先を手動で入力し、宛先リストに追加します。

注 意

［宛先選択制限］の［直接入力禁止］が有効に設定されている場合、宛先を入力することはできません。
「宛先選択方法の制限」については、**TopAccessガイド**を参照してください。

補 足

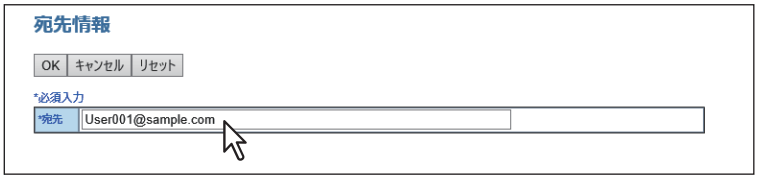
［宛先リスト］画面と［宛先情報］画面の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。
📖 P.87 「IPファクス受信転送（管理者設定）」

1 ［宛先設定］（ファクス／インターネットファクスエージェントの場合）または［TO：宛先設定］／［CC：宛先設定］／［BCC：宛先設定］（Eメール送信エージェントの場合）をクリックし、宛先リストページを開きます。

2 ［新規］をクリックします。

宛先情報ページが表示されます。

3 ［宛先］ボックスに宛先のEメールアドレスかIPファクス番号を入力し、宛先のファクス種別を選択します。



4 ［OK］をクリックします。

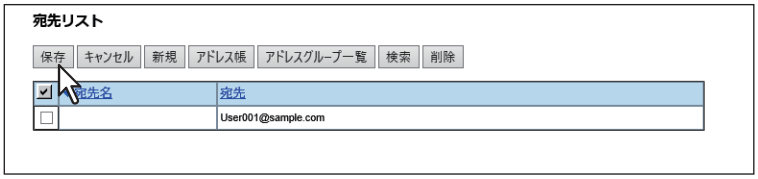
入力した宛先が宛先リストページに追加されます。

5 複数の宛先を指定する場合は、手順2～4を繰り返します。

補 足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。
詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

6 ［保存］をクリックします。



宛先設定が保存されます。

■ Fコード／ファクス受信転送（振分け）

Fコード通信とは、Fコード通信機能に対応したファクス機器どうしで通信する機能であり、メールボックスを使用して原稿の登録や取り出しを行うことができます。

注 意

IPファクスは、［Fコード/ファクス受信転送（振分け）］に対応していません。ただし、［Fコード設定］画面で［インターネットファクス/ファクス（中継）］を［転送］にしてエージェント設定した際の［宛先設定］と［結果送信宛先］にIPファクスの宛先を指定することができます。

Fコード通信に使用するメールボックスには親展/掲示板/転送の3種類があり、これらは事前に設定しておく必要があります。また、機密性を確保するため、すべてのメールボックスに対してパスワードを設定することができます。
P.81「結果送信宛先（メールボックス）」

Fコード通信に使用する下記の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

- ［Fコード／ファクス受信転送（振分け）］画面
- ［Fコード設定］画面
- Fコード設定（メールボックス）
- 宛先設定（メールボックス）
- インターネットファクス設定（メールボックス）
- 共有フォルダに保管設定（メールボックス）
- Eメール設定（メールボックス）
- ボックス設定（メールボックス）

補 足

メールボックスの管理は、本機の操作パネルから行うことができます。
詳細は、**ファクスガイド**を参照してください。

□ 結果送信宛先（メールボックス）

中継孫局結果表を送信する宛先を設定します。

	項目名	機能説明
1	［追加］ボタン	中継孫局結果表を送信する設定を追加します。
2	［キャンセル］ボタン	設定を中止します。
3	［リセット］ボタン	設定内容をリセットします。
4	宛先	送信先のEメールアドレスまたはIPファクス番号を入力します。
5	ファクス種別	送信先のファクス種別を選択します。
6	宛先一覧	登録されている宛先を一覧表で表示します。送信するEメールアドレスまたはIPファクス番号を選択します。

注 意

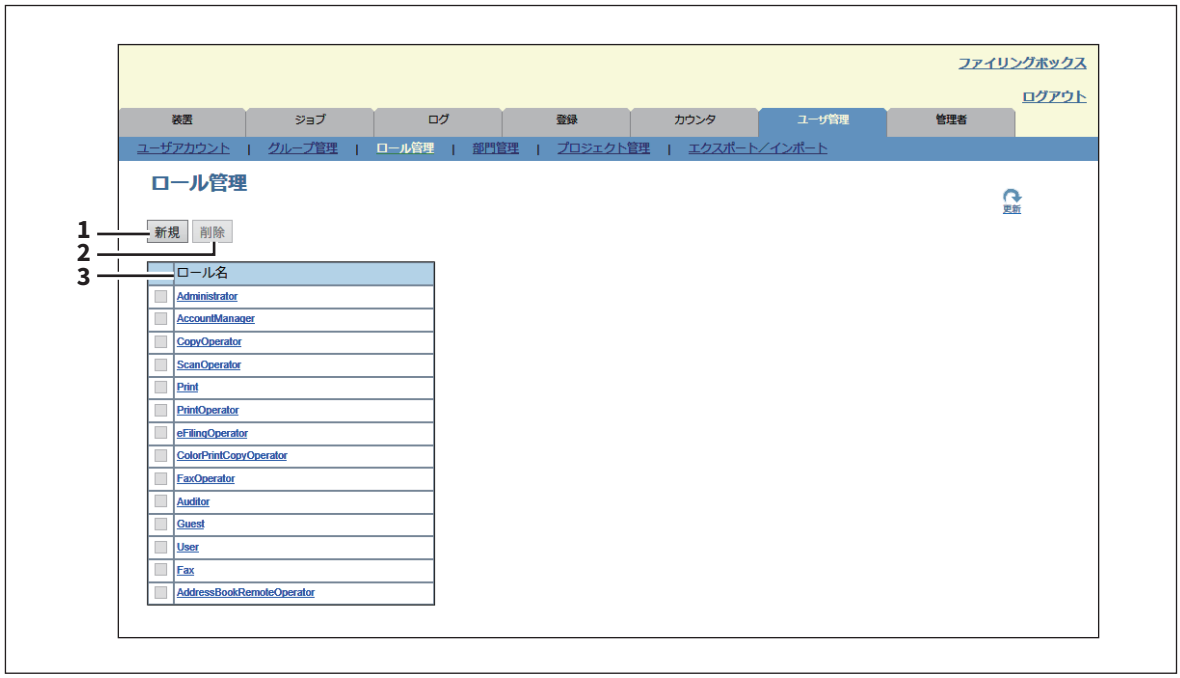
中継孫局結果表の宛先には、複数の宛先を指定することはできません。

■ ロール管理

TopAccessの［ユーザ管理］タブの［ロール管理］メニューでは、アクセスポリシーモードでログインしている場合、ロールを管理/登録することができます。
📖 P.83 「初期登録ロールと権限」
📖 P.84 「［ロールの新規作成］画面」

補 足

アクセスポリシーモードの詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。



	項目名	機能説明
1	［新規］ボタン	新しいロールを登録します。 📖 P.84 「［ロールの新規作成］画面」
2	［削除］ボタン	ロール一覧で選択しているロールを削除します。 初期登録ロールは削除できません。
3	ロール名	ロール名を表示します。 初期登録ロールについては、以下を参照してください。 📖 P.83 「初期登録ロールと権限」 ロール名をクリックすると、ロール情報を確認することができます。 詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

□ 初期登録ロールと権限

IPファクス機能に関係する初期登録ロールの権限は、下表のとおりです。
その他の初期登録ロールの権限は、**TopAccessガイド**を参照してください。
下表の「権限項目」列と「権限によって可能な操作（機能）」列は、［ロール情報作成］画面の「6 機能一覧」に表示される機能です。
📖 P.84 「［ロールの新規作成］画面」

初期登録ロール名	権限項目	権限によって可能な操作（機能）
FaxOperator	ファクス/インターネット ファクス/IPファクス機能 *	インターネットファクス送信 ファクス送信 IPファクス送信 ファクス受信印刷 IPファクス受信印刷
User	ファクス/インターネット ファクス/IPファクス機能 *	インターネットファクス送信 ファクス送信 IPファクス送信 共有フォルダへ保存 リモート保存
Fax	ファクス/インターネット ファクス/IPファクス機能 *	インターネットファクス送信 ファクス送信 IPファクス送信

＊一部の操作（機能）のみ可能となります。

□［ロールの新規作成］画面

新しいロールを登録することができます。

補 足

登録したロールを［ロール編集］画面で確認/編集することができます。
ただし、初期登録ロールは編集できません。
［ロール編集］画面の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

IPファクス機能に関係するロールの登録は、下表のとおりです。
その他の初期登録ロールの権限は、**TopAccessガイド**を参照してください。

	項目名	機能説明
1	MFP機能	ロールに割り当てる権限を選択します。
	ファクス/インターネットファクス機能	ファクス/インターネットファクス/IPファクス機能のすべてを割り当てます。
	インターネットファクス送信	インターネットファクス送信を割り当てます。
	ファクス送信	ファクス送信を割り当てます。
	IPファクス送信	IPファクス送信を割り当てます。
	ファクス受信印刷	ファクス／インターネットファクス/IPファクス受信印刷を割り当てます。

■ レポート通知設定

お使いの機器の情報をEメールで受信することができます。
TopAccessを起動してアクセスポリシーモードを起動し、［管理者］タブ > ［保守］ > ［レポート通知］をクリックします。
P.85 「システム通知情報イベント」
P.86 「ジョブ通知情報イベント」

アクセスポリシーモードの詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

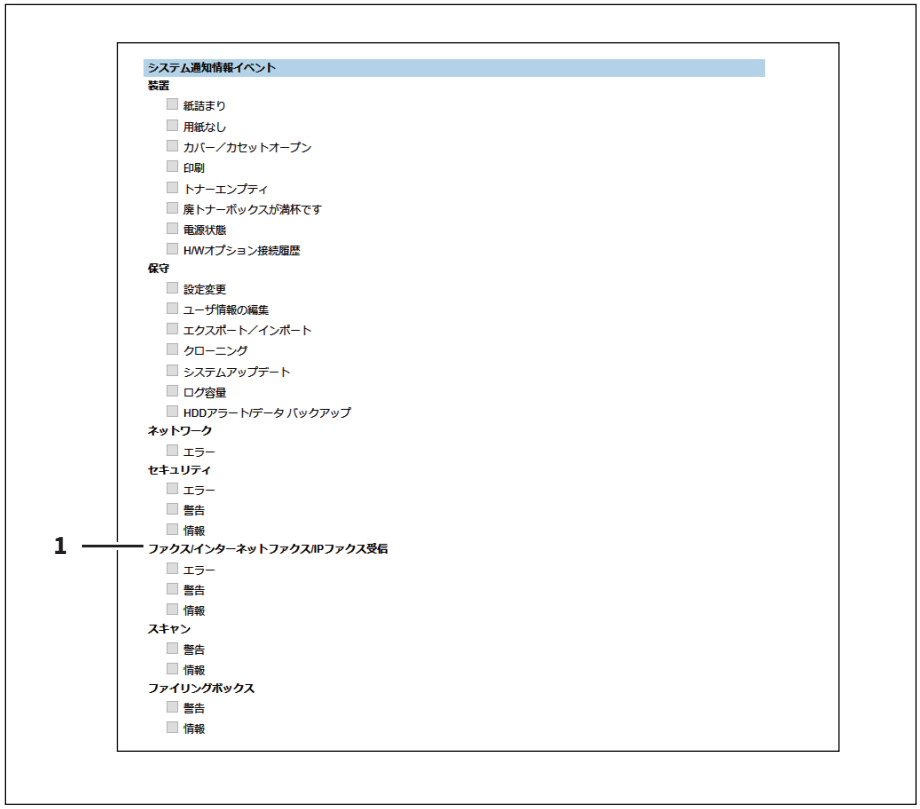
補 足

レポート通知設定の「Eメール設定」、「アプリケーション」、「ライセンス」の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

□ システム通知情報イベント

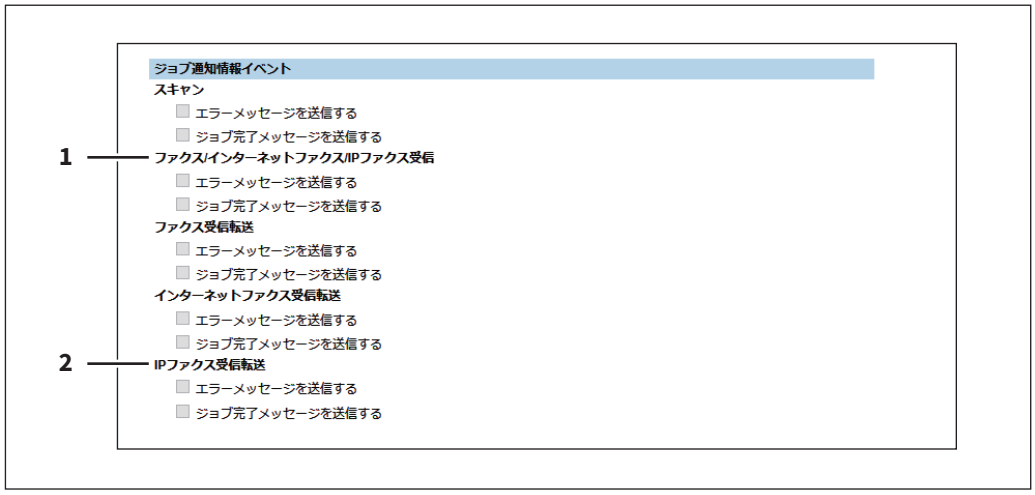
補 足

IPファクス設定以外の項目については、**TopAccessガイド**を参照してください。



	項目名	機能説明
1	ファクス/インターネットファクス/IPファクス受信	**エラー**：ファクス／インターネットファクス/IPファクス受信にエラーが発生した場合に通知します。 **警告**：ファクス／インターネットファクス/IPファクス受信に関する警告情報があった場合に通知します。 **情報**：ファクス／インターネットファクス/IPファクス受信の情報を通知します。

□ ジョブ通知情報イベント



通知するイベントにチェックを付けます。

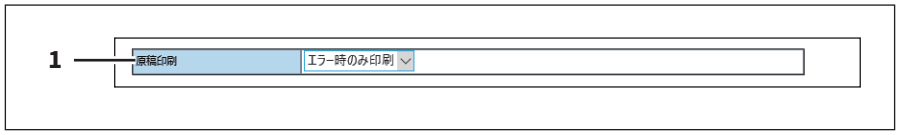
	項目名	機能説明
1	ファクス/インターネットファクス/IPファクス受信	エラーメッセージまたは警告ジョブ完了メッセージを送信します。
2	IPファクス受信転送	エラーメッセージまたは警告ジョブ完了メッセージを送信します。

■ IPファクス受信転送（管理者設定）

受信したIPファクスは、指定した宛先に転送することができます。
TopAccessをアクセスポリシーモードで起動し、［管理者］タブ > ［登録］メニュー > ［IPファクス受信転送］サブメニューをクリックします。
［登録］（［管理者］タブ）設定/操作方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。
📖 P.87 「原稿印刷（IPファクス受信転送）」
📖 P.87 「宛先設定（IPファクス受信転送）」
📖 P.89 「インターネットファクス設定（IPファクス受信転送）」
📖 P.90 「共有フォルダに保管設定（IPファクス受信転送）」
📖 P.96 「Eメール設定（IPファクス受信転送）」
📖 P.100 「ボックス設定（IPファクス受信転送）」

□ 原稿印刷（IPファクス受信転送）

転送する受信原稿の印刷を設定します。

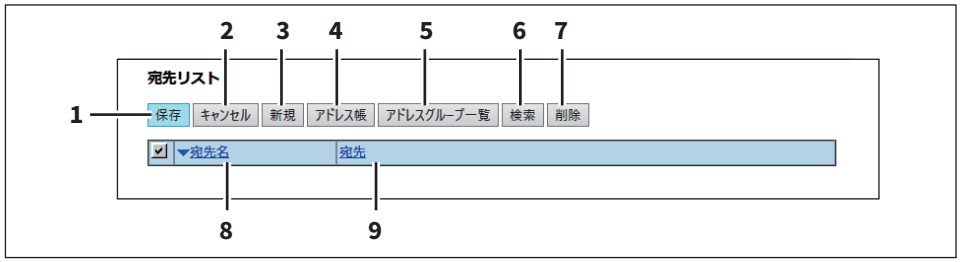


	項目名	機能説明
1	原稿印刷	• **常時印刷**：転送する受信原稿を常に印刷します。 • **エラー時のみ印刷**：すべての転送箇所がエラーになったとき受信原稿を印刷します。（たとえば、共有フォルダ保管とEメール送信設定でEメール送信エラーだけが発生した場合は印刷しません。）

□ 宛先設定（IPファクス受信転送）

受信したIPファクスを転送する宛先を指定します。宛先には、Eメールアドレスのみ設定することができます。
宛先設定は、転送のエージェントとして［インターネットファクス］を選択した場合に設定できます。

宛先リスト

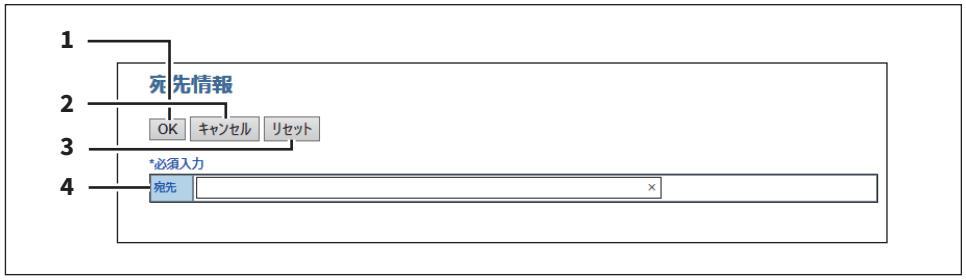


	項目名	機能説明
1	［保存］ボタン	宛先の設定内容を保存します。
2	［キャンセル］ボタン	設定を中止します。
3	［新規］ボタン	宛先としてEメールアドレスを登録する画面を表示します。 📖 P.88 「［宛先情報］画面」
4	［アドレス帳］ボタン	アドレス帳から宛先を選択します。
5	［アドレスグループ一覧］ボタン	アドレス帳のグループを宛先として選択します。

	項目名	機能説明
6	［検索］ボタン	アドレス帳から宛先を検索します。 詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。
7	［削除］ボタン	選択されている宛先を削除します。
8	宛先名	アドレス帳に登録されている名称を表示します。
9	宛先	Eメールアドレスを表示します。

［宛先情報］画面

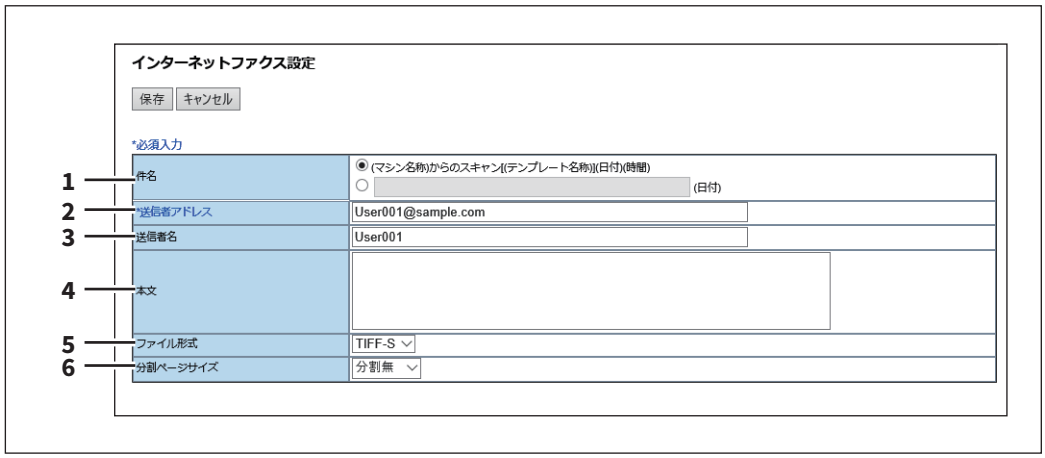
宛先としてEメールアドレスを設定します。



	項目名	機能説明
1	［OK］ボタン	宛先を保存します。
2	［キャンセル］ボタン	設定を中止します。
3	［リセット］ボタン	入力されているEメールアドレスを消去します。
4	宛先	Eメールアドレスを入力します。

□ インターネットファクス設定（IPファクス受信転送）

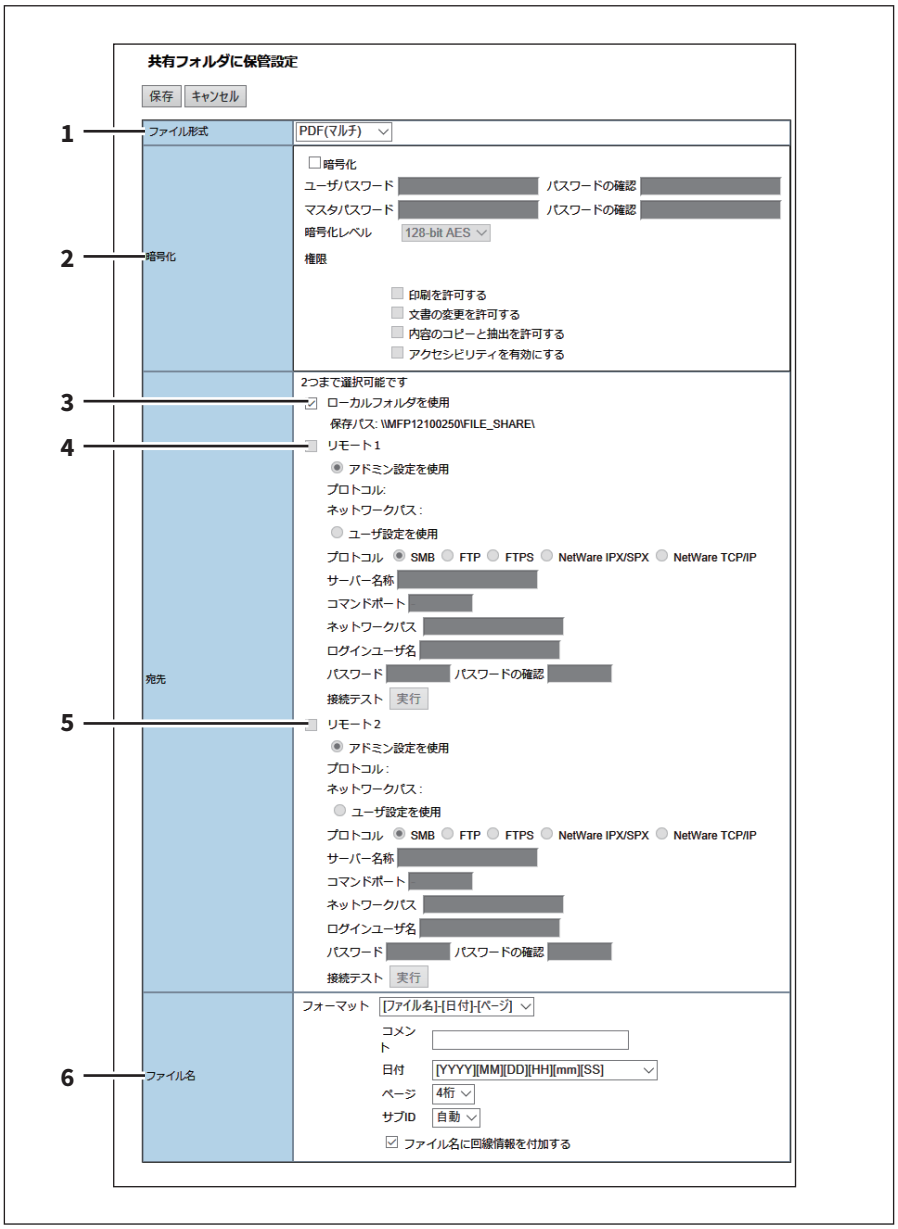
インターネットファクス設定ページでは、送信されるインターネットファクスのプロパティを設定します。宛先設定は、転送のエージェントとして［インターネットファクス］を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	件名	インターネットファクスに適用する件名を設定します。デフォルト設定の［(マシン名称）からのスキャン［(テンプレート名称)］(日付)（時間)］を選択するか、目的の件名をボックスに入力します。手動で件名を入力した場合は、自動的に（日付）が付与され、［(件名）(日付)］になります。
2	送信者アドレス	送信者のEメールアドレスとして適用するEメールアドレスを入力します。テンプレートを使って本機が送信した文書に対して相手先が返信する場合は、ここで設定するEメールアドレスに返信されます。
3	送信者名	インターネットファクス送信に適用する送信者の名前を入力します。
4	本文	インターネットファクスに適用する本文を入力します。スペースを含み1000文字まで入力できます。
5	ファイル形式	スキャンイメージのファイル形式を選択します。［TIFF-S］（TIFF-FX（Profile S)）のみ選択することができます。
6	分割ページサイズ	メッセージの分割サイズを選択します。

□ 共有フォルダに保管設定（IPファクス受信転送）

共有フォルダに保管設定のページでは、受信した文書の保存方法および保存先を設定します。
宛先設定は、転送のエージェントとして［インターネットファクス］を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	ファイル形式	スキャンファイルの保存形式を選択します。 • **TIFF（マルチ）**：スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。 • **TIFF（シングル）**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。 • **PDF（マルチ）**：スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。 • **PDF（シングル）**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。 • **XPS（マルチ）**：スキャンイメージを、複数ページのXPSファイルとして保存します。 • **XPS（シングル）**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存します。 ［OCR有効］でOCRを有効にするかどうかを選択できます。
	補 足 • 強制暗号化機能が有効に設定されている場合、選択できるファイル形式はPDF（マルチ）とPDF（シングル）のみとなります。強制暗号化機能については、**設定管理ガイド**を参照してください。 • XPSファイルで保存したデータは、お使いのコンピュータがWindows 7 Service Pack 1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することができます。 • OCR読み取りは、OCRオプション装着時のみ有効です。	
2	暗号化	ファイル形式でPDF（マルチ）またはPDF（シングル）を選択したとき、PDFを暗号化します。 **暗号化** PDFを暗号化する場合にオンにします。 **ユーザパスワード** 暗号化PDFを開くためのパスワードを入力します。 **マスタパスワード** PDFの暗号化設定を変更するためのパスワードを入力します。 **暗号化レベル** 暗号化レベルを選択します。 • **40-bit RC4**：Acrobat 3.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。 • **128-bit RC4**：Acrobat 5.0, PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。 • **128-bit AES**：Acrobat 7.0, PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。 **権限** 暗号化PDFの権限を設定する項目をオンにします。 • **印刷を許可する**：作成される暗号化PDFファイルの印刷を許可します。 • **文書の変更を許可する**：作成される暗号化PDFファイルの文書の変更を許可します。 • **内容のコピーと抽出を許可する**：作成される暗号化PDFファイルのコピーと抽出を許可します。 • **アクセシビリティを有効にする**：アクセシビリティを有効にします。

	項目名	機能説明
2	補 足 • 暗号化PDF強制モードが有効に設定されている場合、[暗号化] チェックボックスをオフにすることはできません。強制暗号化機能については、**設定管理ガイド**を参照してください。 • 工場出荷時の状態では、ユーザパスワードとマスタパスワードは設定されていません。 • 半角の英数字で、1文字以上32文字まで入力できます。 • ユーザパスワードとマスタパスワードは、同じパスワードを設定することはできません。 注 意 各パスワードはユーザが変更することを許可されている場合のみ入力できます。マスタパスワードの変更が許可されていない場合は、暗号化レベルおよび権限の設定を変更することはできません。ユーザパスワードまたはマスタパスワードのいずれかを入力すると、暗号化の設定が可能になります。暗号化の詳細設定については**設定管理ガイド**を参照してください。ユーザパスワードおよびマスタパスワードの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。	
3	宛先／ローカルフォルダを使用	受信原稿を本機の共有フォルダ（「FILE_SHARE」フォルダ）に保存します。

	項目名	機能説明
4	宛先／リモート1	受信原稿をネットワークフォルダに保存する場合にオンにします。 ［セットアップ］メニューの［共有フォルダに保管］サブメニューで、リモート1をどのようにセットアップしたかによって設定方法は異なります。 ［次のネットワークフォルダに保存する］を選択した場合は、［アドミン設定を使用］のみ選択可能です。その場合、保存に使用するプロトコルおよび保存先のネットワークパスが表示されます。 ［ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める］を選択した場合は、［ユーザ設定を使用］を選択し、以下の項目を入力してファイルを保存する宛先を設定します。 **プロトコル** 受信原稿をネットワークフォルダに転送するときに使用するプロトコルを選択します。 • **SMB**：SMBプロトコルを使用して受信原稿をネットワークフォルダに転送します。 • **FTP**：受信原稿をFTPサーバーに転送します。 • **FTPS**：スキャンファイルをFTP over SSL/TLSでFTPサーバーに転送します。 • **NetWare IPX/SPX**：スキャンファイルをIPX/SPXプロトコルを介してNetWareサーバーに転送します。 • **NetWare TCP/IP**：スキャンファイルをTCP/IPプロトコルを介してNetWareサーバーに転送します。 **サーバー名称** プロトコルでFTPを選択した場合は、受信原稿を転送するFTPサーバー名またはIPアドレスを入力します。たとえば、受信原稿をFTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というFTPフォルダに転送する場合は、このボックスに「192.168.1.1」と入力します。 プロトコルでNetWare IPX/SPXを選択した場合は、スキャンファイルを転送するNetWareサーバー名または、Tree/Context（NDSが使用可能な環境の場合）を入力します。 プロトコルでNetWare TCP/IPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するNetWareサーバーのIPアドレスを入力します。 **コマンドポート** プロトコルでFTPを選択した場合に、コマンド実行に使用するポート番号を入力します。通常は、初期状態で入力された「-」のままにします。「-」にした場合は、ネットワークの設定ページの［FTPクライアント］で設定したポート番号（初期値）が適用されます。初期設定のポート番号とは別のポート番号を指定したい場合のみこの値を変更します。 **ネットワークパス** プロトコルにSMBを選択した場合は、ネットワークフォルダへのネットワークパスを入力します。たとえば、SMBサーバー名が「Client01」というコンピュータの「users¥scanned」というフォルダを指定する場合は、「¥¥Client01¥users¥scanned」と入力します。 プロトコルにFTPを選択した場合は、指定したFTPサーバーのディレクトリを入力します。たとえば、FTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というフォルダを指定する場合は、「user/scanned」と入力します。 プロトコルにNetWare IPX/SPXまたはNetWare TCP/IPを選択した場合は、指定したNetWareサーバーのディレクトリを入力します。たとえば、NetWareサーバーの「sys¥scan」というフォルダを指定する場合は、「¥sys¥scan」と入力します。

	項目名	機能説明
4		**ログインユーザ名** 必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするためのログインユーザ名を入力します。プロトコルにFTPを選択した場合、このボックスを空欄にすると、匿名でのログインと判断されます。「<>":;」以外の半角英数字と記号で32文字まで入力できます。スペース1文字のみのユーザ名は使えません。 **パスワード** 必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。 **パスワードの確認** 確認のためにパスワードを再入力します。 **［実行］ボタン** 設定したネットワーク設定で接続テストを実行し、通信可能かどうかを確認します。
5	宛先／リモート2	受信原稿をネットワークフォルダに保存する場合にオンにします。 ［セットアップ］メニューの［共有フォルダに保管］サブメニューで、リモート2をどのようにセットアップしたかによって設定方法は異なります。リモート2が管理者により指定されたネットワークフォルダを使用するように設定されている場合は、［アドミン設定を使用］のみ選択可能です。その場合、保存に使用するプロトコルおよび保存先のネットワークパスが表示されます。ネットワークフォルダを自由に指定することが許可されている場合は、［ユーザ設定を使用］を選択し、ファイルを保存する宛先を設定します。設定する項目はリモート1と同様です。

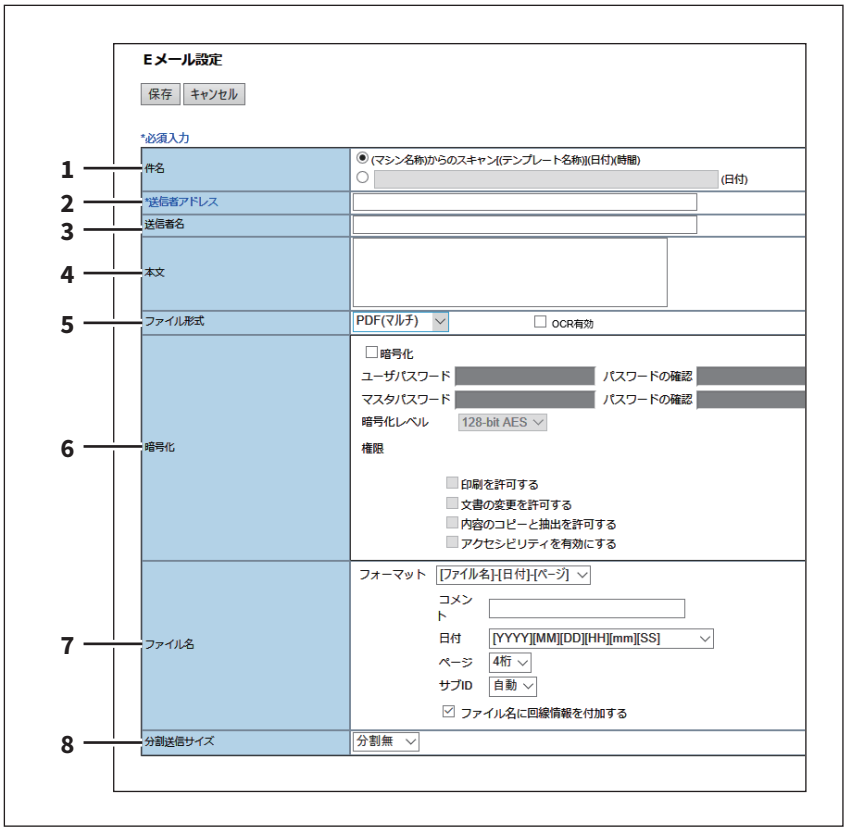
	項目名	機能説明
6	ファイル名	**フォーマット** ファイル名のフォーマットを選択します。ファイル名、日付、ページ番号の各情報が、選択したフォーマットのとおりに付加されます。 • **［ファイル名］-［日付］-［ページ］** • **［ファイル名］-［ページ］-［日付］** • **［日付］-［ファイル名］-［ページ］** • **［日付］-［ページ］-［ファイル名］** • **［ページ］-［ファイル名］-［日付］** • **［ページ］-［日付］-［ファイル名］** • **［ファイル名］_［日付］-［ページ］** **コメント** ファイルについてコメントを入力します。 **日付** ［フォーマット］で選択したファイル名の「日付」部分の付け方を選択します。 • **［YYYY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］**：年（4桁）、月、日、時、分、秒を付加します。 • **［YY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］**：年（2桁）、月、日、時、分、秒を付加します。 • **［YYYY］［MM］［DD］**：年（4桁）、月、日を付加します。 • **［YY］［MM］［DD］**：年（2桁）、月、日を付加します。 • **［HH］［mm］［SS］**：時、分、秒を付加します。 • **［YYYY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］［mm0］**：年（4桁）、月、日、時、分、秒、乱数（3桁：乱数2桁と0）を付加します。 • **［なし］**：日付を付加しません。 **ページ** ［フォーマット］で選択したファイル名の「ページ」部分に適用されるページ番号の桁数を、3～6桁の範囲で選択します。初期値は「4桁」に設定されています。 **サブID** ファイルの保存時、すでに同じ名前のファイルが保存先に存在していた場合、本機はそのファイル名の末尾に自動的にサブID（識別番号）を付加して保存します。このサブIDの桁数を、［自動］または4～6桁の範囲で選択します。なお、初期設定では［自動］が設定されており、ファイル名の状況に合わせて任意の桁数（4～6桁）の番号が入力されます。 **ファイル名に回線情報を付加する** 受信した回線の情報（IPファクス）をファイル名に付加します。初期設定では「ファイル名に回線情報を付加する」チェックボックスはオンです。

注 意

同一の送信者により送信された最大999個のファイルを同じ保存先に保管することができます。999を超えると、本機はファイルを保管する代わりに、受信文書を印刷します。

□ Eメール設定（IPファクス受信転送）

Eメール設定ページでは、転送されるEメール文書のプロパティを設定します。
宛先設定は、転送のエージェントとして［インターネットファクス］を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	件名	Eメール文書に適用する件名を設定します。デフォルト設定の［(マシン名称）からのスキャン［(テンプレート名称)］(日付）(時間)］を選択するか、目的の件名をボックスに入力します。手動で件名を入力した場合は、自動的に（日付）が付与され、［(件名）(日付)］になります。
2	送信者アドレス	送信者のEメールアドレスとして適用するEメールアドレスを入力します。テンプレートを使って本機が送信した文書に対して相手先が返信する場合は、ここで設定するEメールアドレスに返信されます。
3	送信者名	Eメール文書に適用する送信者の名前を入力します。
4	本文	Eメール文書に初期設定として適用する本文を入力します。スペースを含み1000文字まで入力できます。

	項目名	機能説明
5	ファイル形式	ファイル形式を選択します。 • **TIFF（マルチ）**：スキャンイメージを、複数ページのTIFFファイルとして保存します。 • **TIFF（シングル）**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。 • **PDF（マルチ）**：スキャンイメージを、複数ページのPDFファイルとして保存します。 • **PDF（シングル）**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。 • **XPS（マルチ）**：スキャンイメージを、複数ページのXPSファイルとして保存します。 • **XPS（シングル）**：スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存します。 **コメント** ファイルについてコメントを入力します。 **日付** ［フォーマット］で選択したファイル名の「日付」部分の付け方を選択します。 • **［YYYY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］**：年（4桁）、月、日、時、分、秒を付加します。 • **［YY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］**：年（2桁）、月、日、時、分、秒を付加します。 • **［YYYY］［MM］［DD］**：年（4桁）、月、日を付加します。 • **［YY］［MM］［DD］**：年（2桁）、月、日を付加します。 • **［HH］［mm］［SS］**：時、分、秒を付加します。 • **［YYYY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］［mm0］**：年（4桁）、月、日、時、分、秒、乱数（3桁：乱数2桁と0）を付加します。 • **［なし］**：日付を付加しません。 **ページ** ［フォーマット］で選択したファイル名の「ページ」部分に適用されるページ番号の桁数を、3～6桁の範囲で選択します。初期値は「4桁」に設定されています。 **サブID** ファイルの保存時、すでに同じ名前のファイルが保存先に存在していた場合、本機はそのファイル名の末尾に自動的にサブID（識別番号）を付加して保存します。このサブIDの桁数を、［自動］または4～6桁の範囲で選択します。なお、初期設定では［自動］が設定されており、ファイル名の状況に合わせて任意の桁数（4～6桁）の番号が入力されます。 ［OCR有効］でOCRを有効にするかどうかを選択できます。
	補 足	• 強制暗号化機能が有効に設定されている場合、選択できるファイル形式はPDF（マルチ）とPDF（シングル）のみとなります。強制暗号化機能については、**設定管理ガイド**を参照してください。 • XPSファイルで保存したデータは、お使いのコンピュータがWindows 7 Service Pack 1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することができます。 • OCR読み取りは、OCRオプション装着時のみ有効です。

	項目名	機能説明
6	暗号化	ファイル形式でPDF（マルチ）またはPDF（シングル）を選択したとき、PDFを暗号化します。 **暗号化** PDFを暗号化する場合にオンにします。 **ユーザパスワード** 暗号化PDFを開くためのパスワードを入力します。 **マスタパスワード** PDFの暗号化設定を変更するためのパスワードを入力します。 **暗号化レベル** 暗号化レベルを選択します。 • **40-bit RC4**：Acrobat 3.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。 • **128-bit RC4**：Acrobat 5.0, PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。 • **128-bit AES**：Acrobat 7.0, PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。 **権限** 暗号化PDFの権限を設定する項目をオンにします。 • **印刷を許可する**：作成される暗号化PDFファイルの印刷を許可します。 • **文書の変更を許可する**：作成される暗号化PDFファイルの文書の変更を許可します。 • **内容のコピーと抽出を許可する**：作成される暗号化PDFファイルのコピーと抽出を許可します。 • **アクセシビリティを有効にする**：アクセシビリティを有効にします。

補 足

- 強制暗号化機能が有効に設定されている場合、［暗号化］チェックボックスをオフにすることはできません。強制暗号化機能については、**設定管理ガイド**を参照してください。
- 工場出荷時の状態では、ユーザパスワードとマスタパスワードは設定されていません。
- 半角の英数字で、1文字以上32文字まで入力できます。
- ユーザパスワードとマスタパスワードは、同じパスワードを設定することはできません。

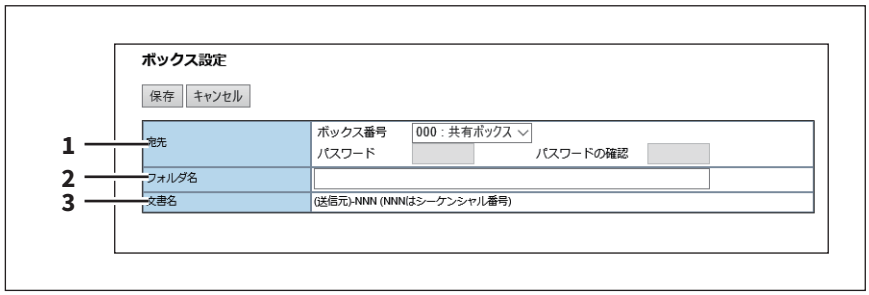
注 意

各パスワードはユーザが変更することを許可されている場合のみ入力できます。マスタパスワードの変更が許可されていない場合は、暗号化レベルおよび権限の設定を変更することはできません。ユーザパスワードまたはマスタパスワードのいずれかを入力すると、暗号化の設定が可能になります。暗号化の詳細設定については**設定管理ガイド**を参照してください。ユーザパスワードおよびマスタパスワードの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

	項目名	機能説明
7	ファイル名	**フォーマット** ファイル名のフォーマットを選択します。ファイル名、日付、ページ番号の各情報が、選択したフォーマットのとおりに付加されます。 • **［ファイル名］-［日付］-［ページ］** • **［ファイル名］-［ページ］-［日付］** • **［日付］-［ファイル名］-［ページ］** • **［日付］-［ページ］-［ファイル名］** • **［ページ］-［ファイル名］-［日付］** • **［ページ］-［日付］-［ファイル名］** • **［ファイル名］_［日付］-［ページ］** **コメント** ファイルについてコメントを入力します。 **日付** ［フォーマット］で選択したファイル名の「日付」部分の付け方を選択します。 • **［YYYY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］**：年（4桁）、月、日、時、分、秒を付加します。 • **［YY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］**：年（2桁）、月、日、時、分、秒を付加します。 • **［YYYY］［MM］［DD］**：年（4桁）、月、日を付加します。 • **［YY］［MM］［DD］**：年（2桁）、月、日を付加します。 • **［HH］［mm］［SS］**：時、分、秒を付加します。 • **［YYYY］［MM］［DD］［HH］［mm］［SS］［mm0］**：年（4桁）、月、日、時、分、秒、乱数（3桁：乱数2桁と0）を付加します。 • **［なし］**：日付を付加しません。 **ページ** ［フォーマット］で選択したファイル名の「ページ」部分に適用されるページ番号の桁数を、3～6桁の範囲で選択します。初期値は「4桁」に設定されています。 **サブID** ファイルの保存時、すでに同じ名前のファイルが保存先に存在していた場合、本機はそのファイル名の末尾に自動的にサブID（識別番号）を付加して保存します。このサブIDの桁数を、［自動］または4～6桁の範囲で選択します。なお、初期設定では［自動］が設定されており、ファイル名の状況に合わせて任意の桁数（4～6桁）の番号が入力されます。 **ファイル名に回線情報を付加する** 受信した回線の情報（IPファクス）をファイル名に付加します。初期設定では「ファイル名に回線情報を付加する」チェックボックスはオンです。
8	分割送信サイズ	メッセージの分割サイズを選択します。

□ ボックス設定（IPファクス受信転送）

ボックス設定のページでは、ファイリングボックスに受信した文書をどのように保存するかを設定します。
宛先設定は、転送のエージェントとして［インターネットファクス］を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	宛先	受信原稿を保存するファイリングボックスを指定します。 **ボックス番号** 受信原稿を保存するボックス番号を選択します。 **パスワード** 指定したボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。 **パスワードの確認** 確認のためにパスワードを再入力します。
2	フォルダ名	受信原稿をファイリングボックス内のフォルダに保存したい場合は、保存するフォルダ名を入力します。
3	文書名	「(送信元）-NNN」が文書名になります。文書名を変更することはできません。

5

困ったときは

送信/受信の動作トラブル 102
IPファクス機能に関するエラーコード 103

送信/受信の動作トラブル

IPファクスの送信/受信ができない場合、以下の確認を行ってください。

- 以下のいずれかでエラーの内容を確認してください。
  - TopAccessの［ログ］タブでエラーコードを確認
  - タッチパネルで［状況確認］を押し、ログでエラーコードを確認
  - 送信管理記録でエラーコードを確認
  - 受信管理記録でエラーコードを確認

- エラーコード表（P.103）の「対処方法」を確認して対処してください。

- トラブルを解決できない場合、弊社販売店にご連絡ください。

IPファクス機能に関するエラーコード

TopAccess［ログ］タブにはジョブ一覧が記録されており、IPファクス機能に関するエラーコードが表示されていることがあります。エラーが発生した場合の原因を特定する際にお役立てください。また、サービスエンジニアおよび弊社販売店へご連絡いただくときに、表示されたエラーコードのメモを取っておかれることをお勧めします。

補 足

エラーコードは本機タッチパネルの［ログ］画面にも表示されます。タッチパネルに表示されたエラーコードの内容を調べたいときも、以下の一覧を参照してください。一覧にあるもの以外のエラーコードが表示された場合は、**トラブルシューティングガイド［ソフトウェア編］**を参照してください。**トラブルシューティングガイド［ソフトウェア編］**にも記載されていないエラーコードが表示された場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。

エラーコード	内容	対処方法
00C8	通信エラー	通信をやり直してください。
0101, 0103-0130, 0132-013D	SIPサーバーへの登録に失敗しました。	ネットワークまたはSIPサーバーの設定を確認してください。
0102	タイムアウトエラー	ネットワークまたはSIPサーバーの設定を確認してください。
0131	SIPサーバーへの登録に失敗しました。	サーバーへの登録に時間がかかっています。しばらくお待ちください。
013E	IPファクス通信エラー	送信し直してください。
0140	IPファクスの起動に失敗しました。	電源を入れ直してください。
0141	設定変更によるジョブの中断が発生	しばらく経ってから送信し直してください。
0142	IPファクス通信エラー	宛先を確認してください。
0143, 0300-0380, 0494-0502, 0504-0606	IPファクス通信エラー	ネットワークまたはSIPサーバーの設定を確認してください。
0144, 0400-0423, 0480-0493, 0503	IPファクス通信エラー	しばらく経ってから送信し直してください。
0150	IPファクス通信エラー	しばらく経ってから送信または受信し直してください。
0433	IPファクス通信エラー	発信者ID が非通知のため、着信拒否されました。
4214	IPファクス機能が無効です	IPファクス機能を有効にしてください。
4246	IPファクスライセンスがインストールされていない	IPファクスオプションのライセンスをインストールしてください。
4314	IPファクスを送信する権限がありません	IPファクスを送信する権限については管理者にお尋ねください。

6

付録

IPファクス機能に関するリスト/レポートの項目 106
システム設定リスト（管理者） 106
リスト/レポートに表示されるIPファクス機能に関する項目 107
IPファクス機能の仕様 108

IPファクス機能に関するリスト/レポートの項目

■ システム設定リスト（管理者）

次の表では、IPファクス機能に関する管理者のシステム設定リストに印刷される項目と説明、およびユーザのシステム設定リストにも印刷される項目を確認できます。IPファクス機能以外の項目については、**設定管理ガイド**を参照してください。

一般

リスト項目	説明	ユーザ
機能設定 - IPファクス送信	IPファクス送信の有効／無効	×
機能設定 - IPファクス受信	IPファクス受信の有効／無効	×
機能設定 - ネットワークIPファクス	ネットワークIPファクスの有効／無効	×

ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
発信元記録（IPファクス）	発信元記録（IPファクス）の有効／無効	○
受信元記録（IPファクス）	受信元記録（IPファクス）の有効／無効	○

IPファクス

リスト項目	説明	ユーザ
IPファクス受信転送 - エージェント1	IPファクス受信転送のエージェント	×
IPファクス受信転送 - エージェント2	IPファクス受信転送のエージェント	×
SIP設定 - SIP使用	SIP機能の有効／無効	×
SIP設定 - 発信トランスポートプロトコル	SIPでリクエストを送信する際に使用するトランスポートプロトコル	×
SIP設定 - 受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号	×
SIP設定 - ユーザ名	SIPサーバーに登録されているSIPユーザ名	×
SIP設定 - SIPサーバー設定	SIPサーバーの設定	×
SIP設定 - レジストラサーバー設定	レジストラサーバーの設定	×
SIP設定 - プロキシサーバー設定	プロキシサーバーの設定	×
SIP設定 - T.38設定	T.38セッションの設定	×
ゲートウェイ設定 - VoIPゲートウェイを使用する	T.38対応ゲートウェイの有効／無効	×
ゲートウェイ設定 - SIP発信トランスポート	T.38対応ゲートウェイにSIPでリクエストを送信する際に使用するトランスポートプロトコル	×
ゲートウェイ設定 - SIP受信ポート番号	T.38対応ゲートウェイからSIPパケットを受信するポート番号	×
ゲートウェイ設定 - T.38設定	T.38セッションの設定	×

■ リスト/レポートに表示されるIPファクス機能に関する項目

本機にIPファクスオプションがインストールされている場合、リスト/レポートにIPファクス番号やアドレス帳の宛先が表示されます。また、IPファクスの宛先を使用すると、リスト/レポートに以下のマークが表示されます。IPファクス機能に関するマーク以外のリスト/レポートに関する項目については、**ファクスガイド**を参照してください。

マーク	説明
S	アドレス帳に登録されたSIP用の宛先を使用した場合に表示されます。
G	アドレス帳に登録されたゲートウェイ用の宛先を使用した場合に表示されます。
D	アドレス帳に登録されたダイレクト用の宛先を使用した場合に表示されます。
S	SIP用の宛先を直接入力した場合、またはLDAPサーバーから検索して宛先を指定した場合に表示されます。
G	ゲートウェイ用の宛先を直接入力した場合、またはLDAPサーバーから検索して宛先を指定した場合に表示されます。
D	LDAPサーバーから検索して宛先を指定した場合に表示されます。

IPファクス機能の仕様

送信原稿サイズ	A3、A4、A4-R、A5、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO	
最大読取幅	297 mm	
解像度	読み取り解像度	普通：8 ドット/mm x 3.85 本/mm 精細：8 ドット/mm x 7.7 本/mm 高精細：16 ドット/mm x 15.4 本/mm
	送信解像度	普通：8 ドット/mm x 3.85 本/mm 精細：8 ドット/mm x 7.7 本/mm 高精細1：8 ドット/mm x 15.4 本/mm 高精細2：16 ドット/mm x 15.4 本/mm
符号化方式	MMR方式/MR方式/MH方式	
通信プロトコル	SIP、JT-T.38	
通信回線	Ethernet（10base-T/100base-TX/1000base-T）	

仕様改良のため予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
トラブルが発生したときは、サービスエンジニアまたは弊社販売店へご相談ください。

索引

E

Eメール 49
Eメール設定（IPファクス受信転送） 96

F

Fコード 48, 80

I

IPファクス受信転送 87
IPファクス設定 18
　一般設定 18

L

LDAPサーバー 40

S

SIPサーバー 9
SIP設定 22

T

T.38対応ゲートウェイ 9

あ

宛先
　アドレス帳からグループを選択する 43
　アドレス帳から選択する 39
　検索 50
　検索結果の表示順設定 50
　削除 69
　指定 38, 60
　手動で入力する 79
　直接ダイヤルする 38
　編集／削除 50
[宛先情報作成] 31
[宛先情報編集] 31
宛先設定 78
アドレス帳 30, 49
アドレス帳リスト 48

い

一般設定 17
インターネットファクス設定
（IPファクス受信転送） 89

え

エラーコード 103

か

会社名 49
解像度 47

き

機能設定 17
共有フォルダに保管設定（IPファクス受信転送） ...90

く

[グループ情報作成] 34
[グループ情報編集] 34
グループの検索 51
グループの登録 50
グループの編集／削除 50
グループメンバの確認 51
グループリスト 48

け

[ゲートウェイ情報作成] 27
ゲートウェイ設定 26
結果送信宛先（メールボックス） 81
原稿印刷（IPファクス受信転送） 87
原稿モード 47
検索結果リスト 33

し

自局名を登録する 54
システム設定リスト
　管理者 106
　ユーザ 48
システム通知情報イベント 85
自動原稿送り装置 4
受信
　自動受信 44
　メモリ受信 44
受信管理記録 76
受信元情報 54, 55
初期登録ロールと権限 83
ジョブ通知情報イベント 86

せ

姓 49

そ

送信 36, 56
送信管理記録 75
[送信]タブ 70

つ

通信履歴 46

て

[デバイス設定]タブ 72
テンプレート 78
電話番号2 49
電話番号/IPファクス 49

な

名 49

ね

ネットワーク状態を確認する 53
ネットワーク設定 51

の

濃度 47

は

発信元情報 54

ひ

備考 49

ふ

ファクス設定 47, 54
複数宛先送信前確認 48
部署名 49
プレビュー設定 48

ほ
ボックス設定（IPファクス受信転送）.....100

ら
ライセンスをインストールする 13
ライセンスを確認する 12

り
リスト印刷 48
リスト/レポート 107

れ
レポート設定 28
レポート通知設定 85

ろ
ロール管理 82
ロールの新規作成 84
ログ 75

FC-2010AC
FC-2515AC/3515AC/4515AC/5015AC
DP-2518A/3518A/4518A/5018A
FC-5516AC/6516AC/7516AC
DP-6518A/8518A
OMJ18007300

東芝デジタル複合機

IPファクス機能 取扱説明書

e-STUDIO2010AC
e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC
e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A
e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC
e-STUDIO6518A/8518A

東芝テック株式会社

QUALITY SERVICE

© 2018 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

R180620V3300-TTEC
Ver00 F 発行 2018年12月